

長期優良住宅 認定申請書作成の手引き

発行 一般社団法人 住宅性能評価・表示協会

目 次

1章 長期優良住宅建築等計画の認定の申請図書等	1
1. 認定手続の流れ	2
2. 申請手続きに係る図書等	6
3. 変更・承継手続きに係る図書等	9
4. 申請の単位について	11
2章 記入例1（一戸建ての木造軸組み住宅用）	15
1. 認定申請書（規則第一号様式）	16
2. 設計内容説明書（参考様式1）	22
3. 変更認定申請書（規則第三号様式）	34
4. 承認申請書（規則第六号様式）	36
5. その他の書類	38
3章 記入例2（RC造共同住宅等用）	45
1. 認定申請書（規則第一号様式）	46
2. 設計内容説明書（参考様式1）	54
3. 変更認定申請書（規則第三号様式）	68
4. 変更認定申請書（規則第五号様式）	70
5. 承認申請書（規則第六号様式）	74
6. その他の書類	76
<参考>	83
○長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査依頼書（登録住宅性能評価機関用）の様式	
○登録住宅性能評価機関が交付する「長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査適合証」の様式	
<Q & A>	87

1章. 長期優良住宅建築等計画の認定の申請図書等

1章. 長期優良住宅建築等計画の認定の申請図書等

1. 認定手続きの流れ

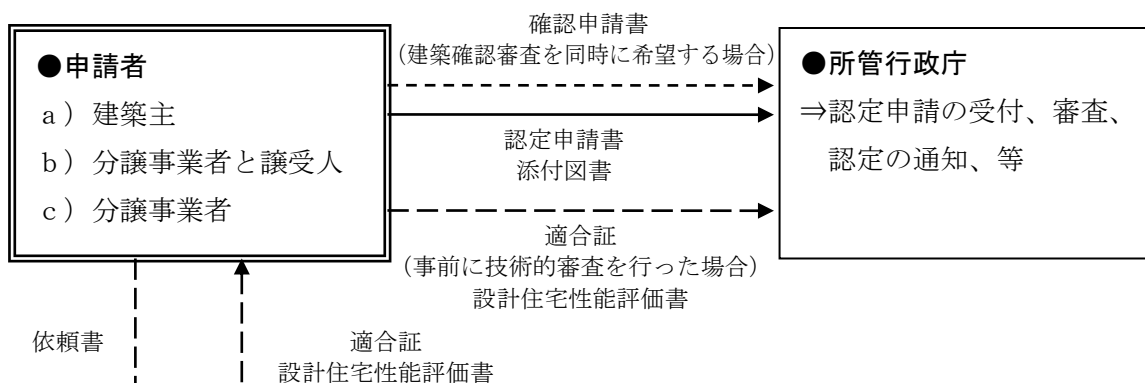
長期優良住宅建築等計画の認定を受けようとする者は、長期優良住宅の普及の促進に関する法律（以下「法」という。）第5条に基づき、認定対象建築物の所在地を所管する所管行政庁に、必要な添付図書を添えて申請書を提出することが求められる。認定の申請者は以下のように整理されるが、それぞれ次頁以降で示す手順で認定手続きが行われる。

- a) 住宅を建築し、自ら住宅の維持保全を行うものが申請する場合（建築主が申請する場合：法第5条第1項）
- b) 販売等を目的に住宅を建築し、譲渡する譲受人と共同で申請する場合（分譲事業者と譲受人が共同して申請する場合：法第5条第2項）
- c) 販売等を目的に住宅を建築し、建築主が単独で申請する場合（譲受人が決定する前に分譲事業者のみが申請する場合：法第5条第3項）

所管行政庁は申請者から申請があった場合は速やかに認定審査を行うこととなるが、申請者は住宅の品質確保の促進等に関する法律（以下「品確法」という。）に基づき登録住宅性能評価機関（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条に基づく機関）が交付する、設計住宅性能評価書を審査に活用すること、または、長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査をあらかじめ登録住宅性能評価機関に依頼することが可能な場合がある。この場合、所管行政庁に認定申請する前に登録住宅性能評価機関に技術的審査を依頼し、「設計住宅性能評価書」または、認定基準に適合することを証する「適合証」の交付を受け、所管行政庁に提出することとなる。

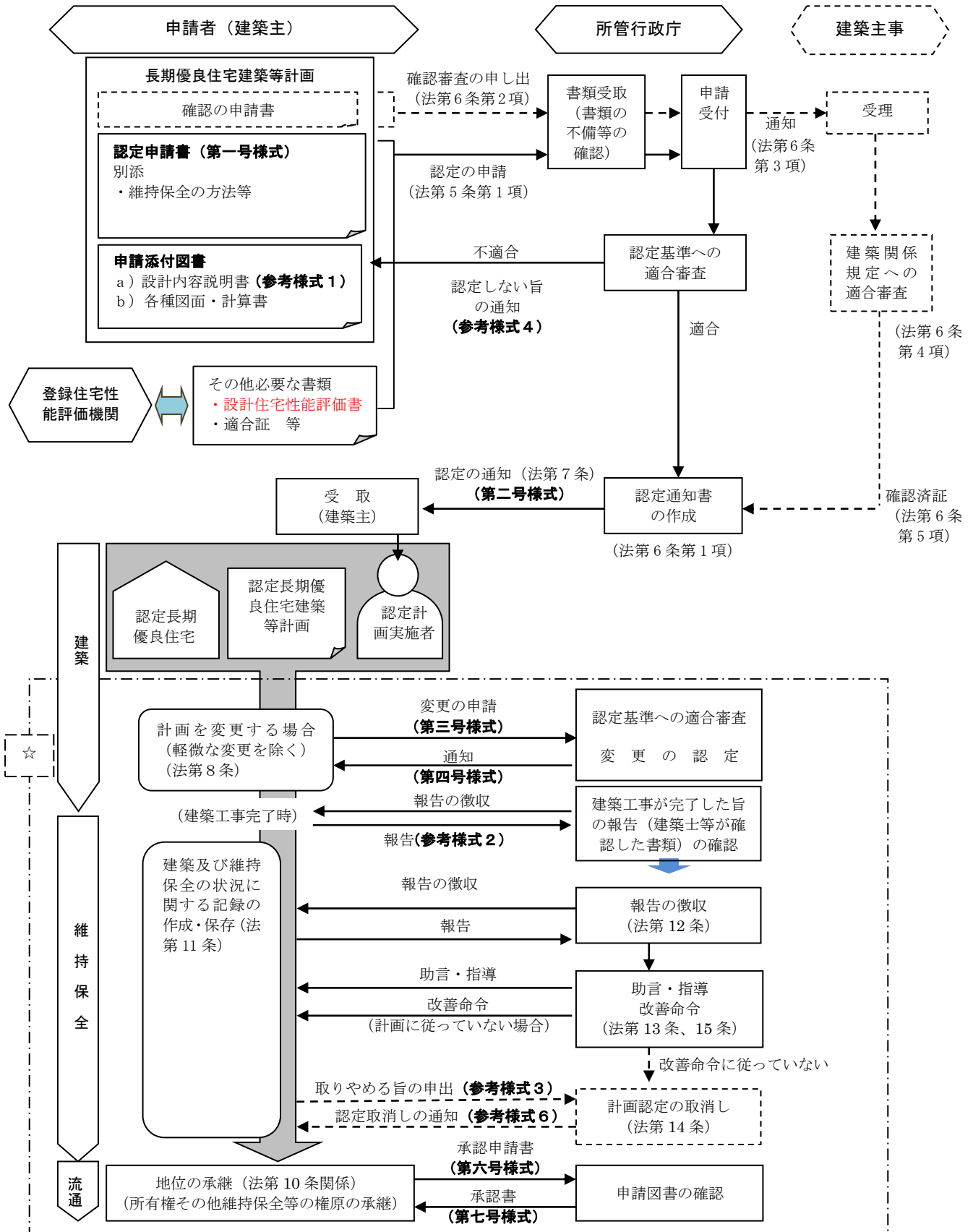
※

また、法第6条第2項に基づき、長期優良住宅の認定申請とともに、建築確認審査の申し出を併せて行うこともできる。この場合は、認定申請を行う際に建築確認の申請書を併せて提出しなければならない。なお、建築確認審査の申し出を併せて行う場合、認定を受けたことをもって、建築確認済証が交付されたとみなされることとなっており、当該認定が取り消しをされると、建築確認済証の交付があったとみなされなくなるので注意が必要である。

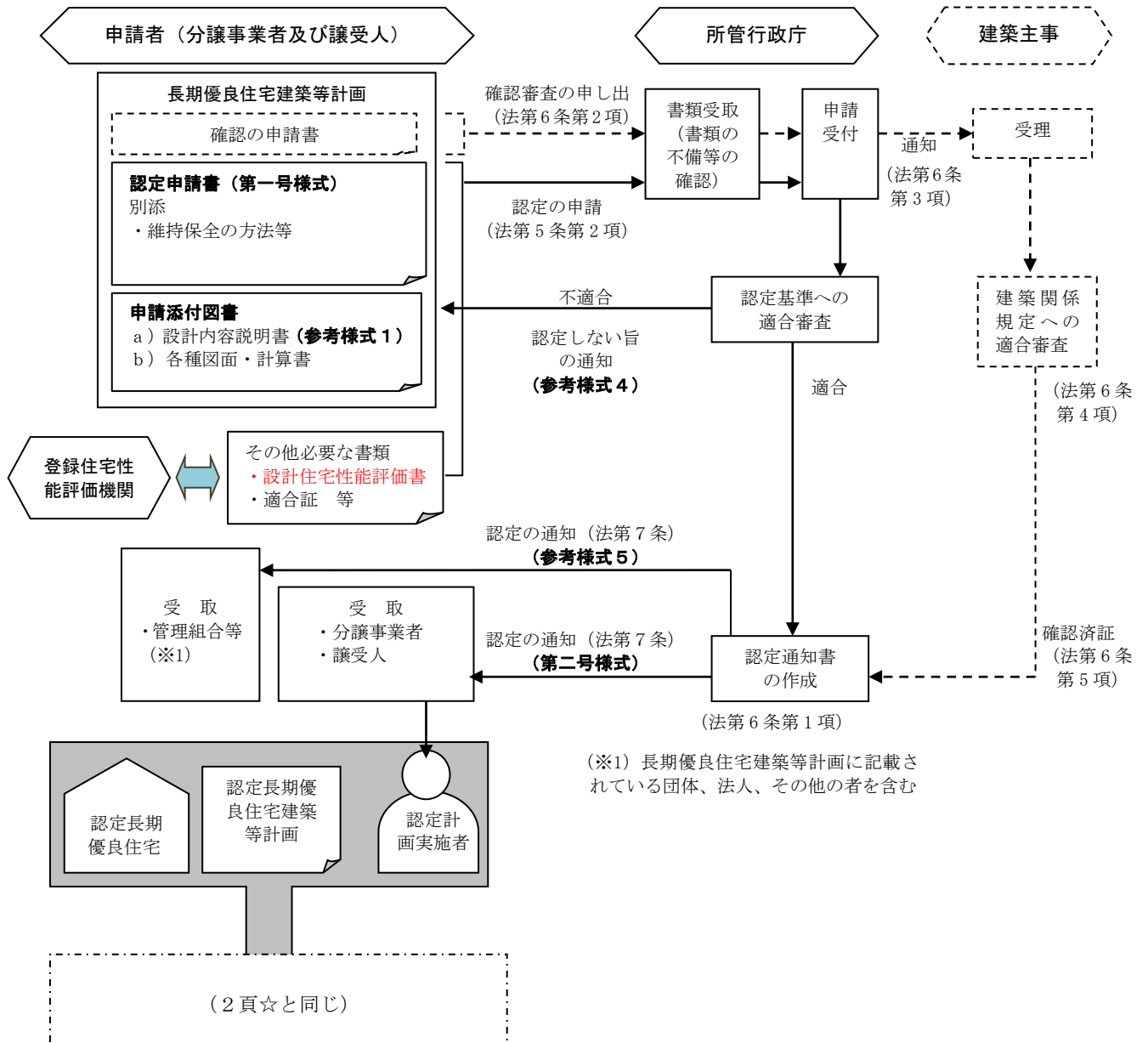


※登録住宅性能評価機関への技術的審査の手続きの詳細は「一般社団法人 住宅性能評価・表示協会」または登録住宅性能評価機関受付窓口にて確認のこと。また、技術的審査の活用にあたって、所管行政庁における技術的審査の取り扱いを確認のこと。

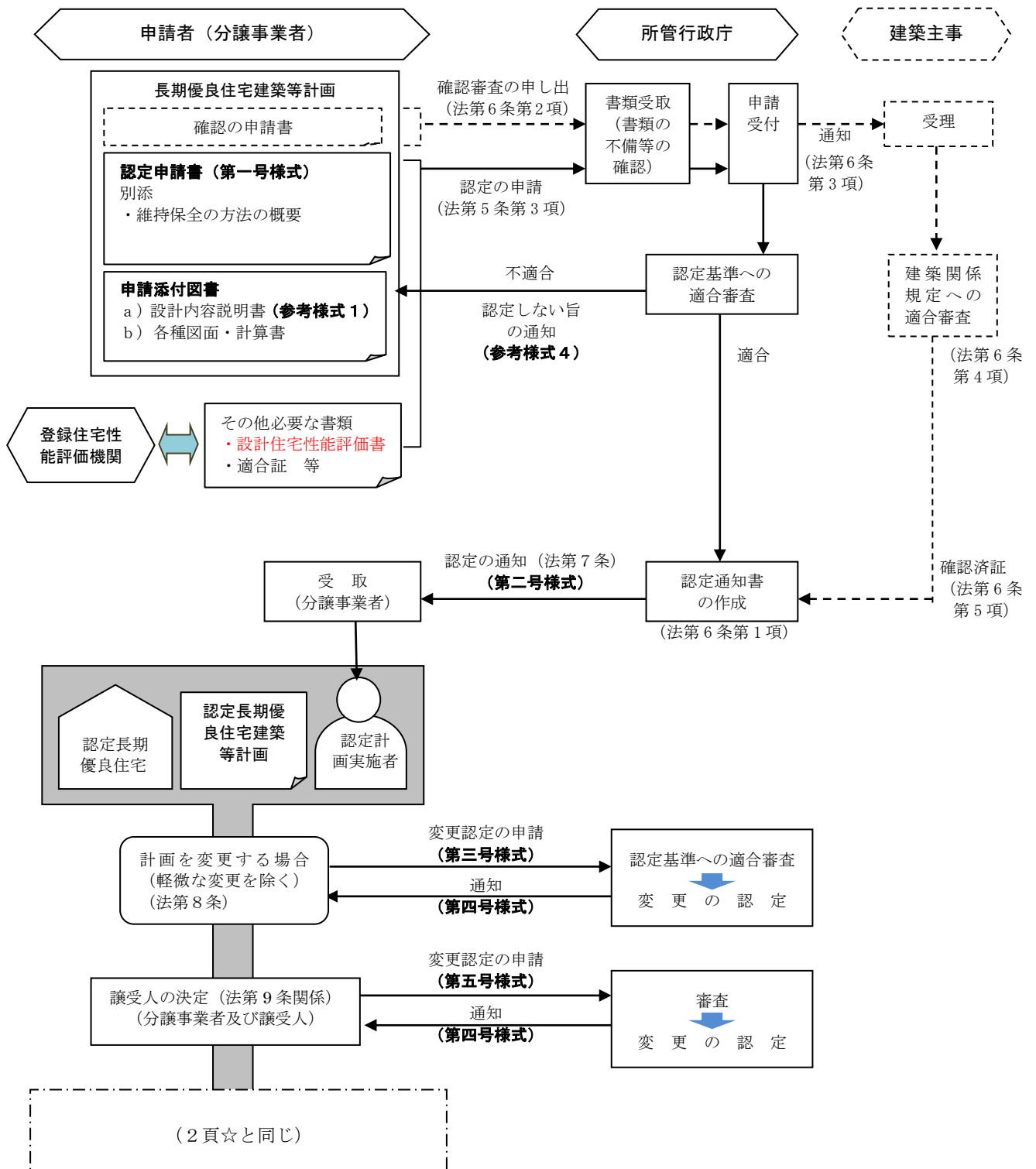
a) 建築主が申請する場合（法第5条第1項に該当する場合）の一般的な流れ



b) 分譲事業者と譲受人が共同して申請する場合（法第5条第2項に該当する場合）の一般的な流れ



c) 分譲事業者のみが申請する場合（法第5条第3項に該当する場合）の一般的な流れ



2. 申請手続きに係る図書等

長期優良住宅建築等計画の認定では、当該計画に係る住宅を着工する前に、規則で定められた申請書に必要な添付図書（正本及び副本）を添えて所管行政庁に提出しなければならない。当該計画に係る住宅を着工するのは認定申請後になる。ただし、認定申請した計画が認定基準に適合しなければ、着工後に認定を受けることができない。

なお、長期優良住宅建築等計画の認定の申請を行う時に、併せて当該住宅の建築確認審査の申し出を行うことができる。この場合、建築基準法に従って、建築確認申請に必要な図書を同時に提出しなければならない。

①認定申請書（規則第一号様式）〈規則第2条関係〉

申請者が作成し、所管行政庁に提出する。

- a. 第一面 申請者の住所（又は所在地）、及び氏名（又は名称）、当該申請が法第5条のどの項によるものなのか等についての記載欄が設けられている。
- b. 第二面 建築しようとする住宅の位置、構造等や規模に関する事項等についての記載欄が設けられている。
- c. 第三面 共同住宅等の場合の申請に必要なもので、住戸番号や専用部分の面積など住戸に関する事項についての記載欄が設けられている。申請は住戸単位で行うこととなるが、共同住宅等の場合にあつて、1住戸ごとの項目が重複している場合には申請書の一部を一棟又は複数の住戸でまとめて記載して申請することができる。（認定申請書の提出イメージ参照）
- d. 第四面 当該住宅の維持保全の方法・期間等、住宅の建築・維持保全に係る資金計画その他の事項についての記載欄が設けられている。“建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間”について欄内に記入しきれない場合は、これに代わる書類を別に添えて提出してもよい。また、共同住宅等の場合にあつて、1住戸ごとの項目が重複している場合には申請書の一部を一棟又は複数の住戸でまとめて記載して申請することができる。（認定申請書の提出イメージ参照）

法第5条第3項の申請を行う場合は、維持保全の方法の概要を記載する。

また、資金計画として、建築に要する費用の概算額（請負契約の額、販売（予定）価格など）及び修繕に要する費用の年間積立予定額などを記載する。

法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者については、管理組合法人など区分所有法に定める法人である場合は4①、その他の者と共同で行う場合は4②に記載する。

■認定申請書の提出イメージ（住戸ごとの項目が重複している場合の例など）

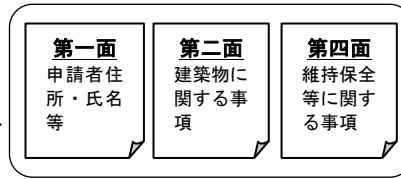
【一戸建ての住宅の場合】

○法第5条第1項～3項の申請

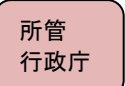


第1項 建築主
第3項
第2項 建築主+譲受人

【第一号様式】

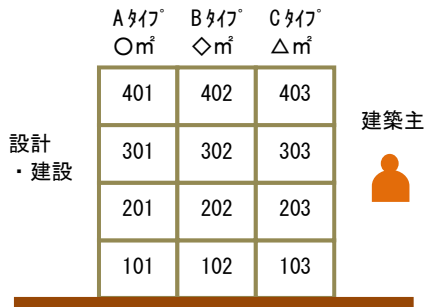


申請
認定通知
【第二号様式】

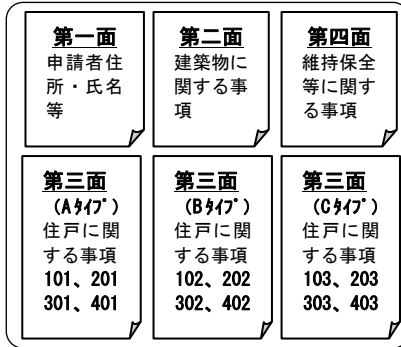


【共同住宅等の場合】

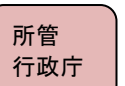
○法第5条第1項の申請



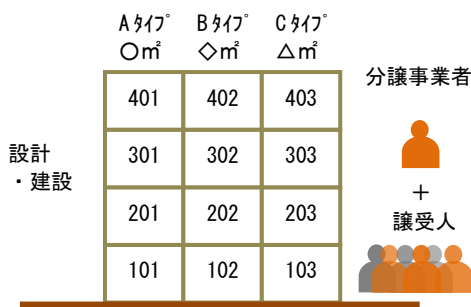
【第一号様式】



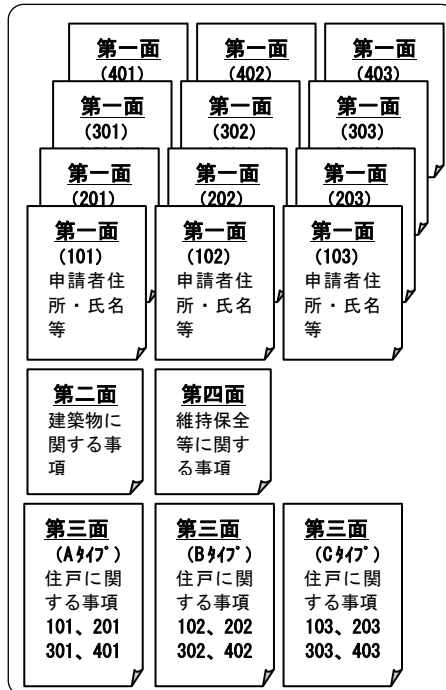
申請
認定通知
【第二号様式】



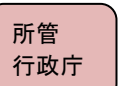
○法第5条第2項の申請



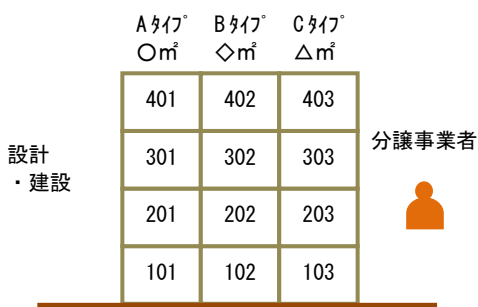
【第一号様式】



申請
認定通知
【第二号様式】



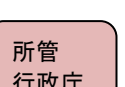
○法第5条第3項の申請



【第一号様式】



申請
認定通知
【第二号様式】



②添付図書<規則第2条関係>

添付図書の種類及び明示すべき内容は以下の一覧のとおり。

なお、変更申請の場合は、対象となる住宅の認定通知書またはその写しが必要となる。

また、その場合の添付図書については、変更に係るもののみの提出でよい。

図書の種類		明示すべき事項
a)	設計内容説明書	住宅の構造及び設備が長期使用構造等であることの説明
b)	各種 図面・計 算書	付近見取図
	方位、道路及び目標となる地物	
	配置図	縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建物の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別及び設備配管に係る外部の排水ますの位置
	仕様書（仕上げ表を含む）	部材の種別、寸法及び取付方法
	各階平面図	縮尺、方位、間取り、居室の寸法、階段の寸法及び構造、廊下及び出入口の寸法、段差の位置及び寸法、壁の種類及び位置、通し柱の位置、筋かいの種類及び位置、開口部の位置及び構造、換気孔の位置、設備の種別、点検口及び掃除口の位置並びに配管取出口及び縦管の位置
	床面積求積図	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式
	二面以上の立面図	縮尺並びに小屋裏換気孔の種別、寸法及び位置
	断面図又は矩形図	縮尺、建築物の高さ、外壁及び屋根の構造、軒の高さ、軒及びひさしの出、小屋裏の構造、各階の天井の高さ、天井の構造、床の高さ及び構造並びに床下及び基礎の構造
	基礎伏図	縮尺、構造躯体の材料の種別及び寸法並びに床下換気孔の寸法
	各階床伏図	縮尺並びに構造躯体の材料の種別及び寸法
	小屋伏図	縮尺並びに構造躯体の材料の種別及び寸法
	各部詳細図	縮尺並びに断熱部その他の部分の材料の種別及び寸法
各種計算書	構造計算その他の計算を要する場合における当該計算の内容	

※表の各項に掲げる図書に明示すべき事項を他の図書に明示しても良い。また、当該各項目に掲げる事項を全て他の図書に明示したときは、当該図書を要しない。

a. 設計内容説明書（参考様式1参照）

認定基準適合の根拠となる設計の内容を説明するための書類。設計内容、記載図書等を記載するとともに設計内容確認欄などを設ける。

設計内容確認欄は審査を行う者が活用する。

申請者が作成し、所管行政庁に提出する。

b. 各種図面・計算書

認定申請する対象住宅が、申請書に添付された設計内容説明書のとおり設計されていることを確認するための書類。

c. その他必要な書類（所管行政庁が必要と認める図書）

○登録住宅性能評価機関が発行した設計住宅性能評価書（変更を含む。）

○登録住宅性能評価機関の技術的審査をあらかじめ受けてきた場合における当該機関が発行する適合証（技術的審査を受けた設計内容説明書を添付）

○住宅型式性能認定書等

住宅型式性能認定等既存の証明書を活用する場合、以下に掲げる書類を添付することで、所管行政庁が不要と認める図書の提出を省略することができる。

- ・住宅型式性能認定書（登録住宅型式性能認定等機関が交付するこれと同等の確認書を含む。）
- ・型式住宅部分等製造者認証書
- ・特別評価方法認定書（登録試験機関が行うこれと同等の試験の結果の証明書を含む。）

なお、所管行政庁で申請に係る住宅型式性能認定書等の写しを有しており、認定審査の公正かつ適確な実施に支障がないと認めた場合には当該認定書等の提出も省略することもできる。

○居住環境の維持及び向上への配慮に関する基準に応じて、それに適合することを確認するために必要な図書

d. 建築確認に関する申請図書

法第6条第2項により建築確認審査の申し出を併せて行う場合は、建築確認の申請図書を提出する。この際、建築確認の申請に係る図書の省略については、建築基準法の取り扱いに従う。

③不認定通知書

認定しない旨を所管行政庁が申請者に通知するための書類。

申請図書等の不備を認めた場合、また、審査により認定基準への不適合（法第6条第2項の申し出をした場合は建築基準関係規定への不適合を含む。）が認められた場合等において、所管行政庁から通知される。

④認定通知書（規則第二号様式）〈規則第6条関係〉

審査の結果、認定が確定した場合にその旨を所管行政庁が申請者に通知するための書類。

⑤計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書（参考様式2参照）

長期優良住宅の普及の促進に関する基本的な方針三2に基づき、法第12条に基づく報告を所管行政庁から求められた場合に提出する書類。添付する書類としては、原則として、建築士による工事監理報告書又は登録住宅性能評価機関による建設住宅性能評価書などが考えられるが、これにより難しい場合は建設工事の受注者による発注者への工事完了の報告書などを添付して報告する。

3. 変更・承継手続きに係る図書等

⑥変更認定申請書（規則第三号様式・第五号様式）〈規則第7、8、10条関係〉

長期優良住宅の変更認定申請のための書類。

既に認定を受けた長期優良住宅建築等計画（以下「認定計画」という）に記載された内容を変更しようとする場合（軽微な変更を除く）に申請者が作成し、所管行政庁に提出する。認定計画には、認定申請書、添付図書の他、法第6条第2項の申し出を行う場合には確認の申請書も含まれる。

また、軽微な変更とは、以下に該当するものである。（規則第7条関係）

- a) 住宅の建築の着工予定時期又は完了予定時期の6月以内の変更であるもの
- b) 分譲事業者のみが申請した場合（法第5条3項に該当する場合）における認定計画にあっては、譲受人の決定の予定時期の6月以内の変更であるもの
- c) 変更後の認定に係る建築等計画が認定基準に適合することが明らかな変更。
- d) 上記c)において、建築確認審査の申し出を併せて行っている場合には、建築基準法施行規則第3条の2に規定する軽微な変更であるもの。

変更申請にあたっては、基本的には規則第三号様式を用いるが、法第5条第3項に基づく分譲住宅事業者のみの申請に係るもので譲受人が決定したことによる変更申請（法第9条関係）の場合は、規則第五号様式を用いる。なお、譲受人が決定したことによる変更申請は譲受人の決定後3ヶ月以内に行うものと定められている。譲受人の決定は契約締結時点としてよい。

規則第三号様式は、申請者の住所（又は所在地）及び氏名（又は名称）、計画変更前の認定通知書の認定番号、認定年月日、変更の概要についての記載欄が設けられている。

規則第五号様式は、分譲事業者及び譲受人の住所（又は所在地）及び氏名（又は名称）、計画変更前の認定通知書の認定番号、認定年月日（第一面）、建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間、住宅の建築及び維持保全に係る資金計画（第二面）についての記載欄が設けられている。

同一の棟の各住戸の譲受人の決定による変更については、変更申請の手續の効率化の観点から、一定程度まとめて変更申請を行って差しつかえない。

⑦変更認定の通知書（規則第四号様式）＜規則第9条関係＞

審査の結果、変更に係る計画の認定が確定した場合にその旨を所管行政庁が申請者に通知するための書類。申請書の副本及びその添付図書を添えて通知される。

⑧計画に基づく建築等を取りやめる旨の申出書（参考様式3参照）

認定計画に基づく建築等を取りやめる旨を申し出するための書類。

所管行政庁は、認定計画実施者から認定計画に基づく建築等を取りやめる旨の申出があった場合は計画の認定を取り消すことができる。

⑨認定取消通知書

認定を取り消すことを決定した旨を所管行政庁が申請者に対して通知する書類。

認定計画実施者が所管行政庁の改善命令に違反した場合や⑧の申出があった場合で、認定を取り消すことが決定された場合、所管行政庁から通知される。

⑩地位の承継に係る承認申請書（規則第六号様式）＜規則第 12 条関係＞

認定計画に基づく地位を承継することについて、承継人が所管行政庁に申請するための書類。

認定計画実施者の一般承継人、または当該住宅の所有権その他維持保全等の権原を取得した者は、所管行政庁の承認によりその地位を承継することができる。

地位承継の承認申請書は、申請者及び氏名（又は名称）、認定通知書の認定番号、認定年月日、従前の認定計画実施者の氏名、地位の承継が生じた原因についての記載欄が設けられている。

⑪承認通知書

地位の承継について承認した旨を、所管行政庁が承継者に通知する書類。

4. 申請の単位について

申請は住戸単位となる。なお、共同住宅等の場合で、住戸ごとの項目が重複している場合、様式の一部の面をまとめて記載して申請することができる（規則第一号様式第一面注意事項を参照）。規模の大きな分譲マンションの場合には時期を分けて販売することがあるが、譲受人決定時の変更申請の手の効率化の観点から、譲受人決定時から 3 月以内であれば販売（供給）期毎に変更認定申請するなど、まとめて申請して差しつかえない。

次に共同住宅（分譲マンション）の場合の申請のモデルを示すので参照されたい。

＜参考例＞

前提条件：分譲を目的に 4 階建て各階 3 戸計 12 戸の共同住宅を設計・建設し、当該住宅を二期に分けて販売する。

a. 着工前申請時点

- ・分譲事業者にて設計された住宅に係る計画について認定申請する段階。この段階では譲受人が決まっていないため、分譲事業者のみが申請者となる（法第 5 条第 3 項）。
- ・申請は第一号様式を用いる。第一面は一通のみの記載でも良いが、第三面は住戸毎に作成する（同一の記述内容となる場合はまとめて記載しても良い。P 7 参照。）。第四面は「法第 5 条第 3 項の規定に基づく申請の場合」の様式を用いる。

b. 第一期分販売後譲受人決定時点（法第 9 条関係）

- ・住棟建設後、第一期分を販売した段階（契約締結時から 3 ヶ月以内）で変更認定の申請を行い、当該変更に係る認定通知書を受ける。
- ・変更申請には、第五号様式を用いる。それぞれの住宅の取得者（譲受人）毎に、変更申請書を作成する。第二面は建築後の維持保全の方法及び期間、建築及び維持保全に係る資金計画等をまとめて記載することができる。

c. 第二期分販売後譲受人決定時点（法第 9 条関係）

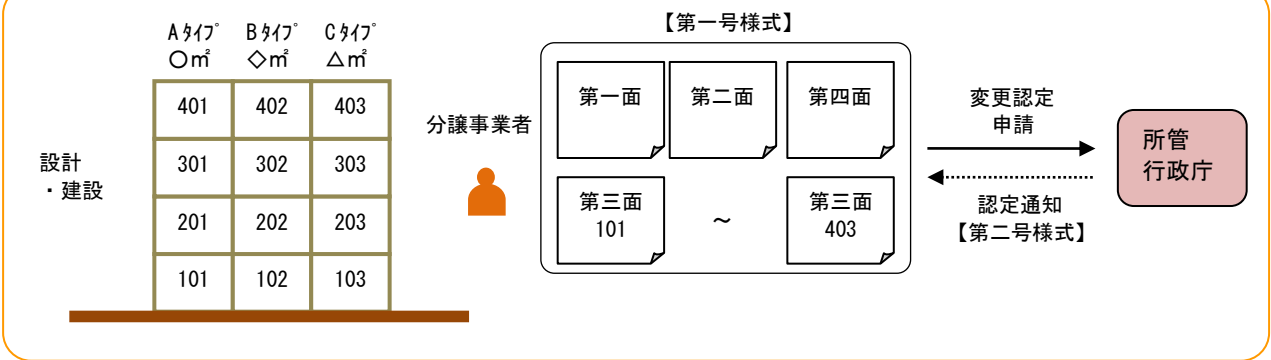
- ・b. と同様に、第二期分を販売した段階で、それぞれの住宅の取得者（譲受人）毎に、変更申請書を作成し、変更認定の申請を行い、当該変更に係る認定通知書を受ける。

d. 既存住宅の売買時点（法第 10 条関係）

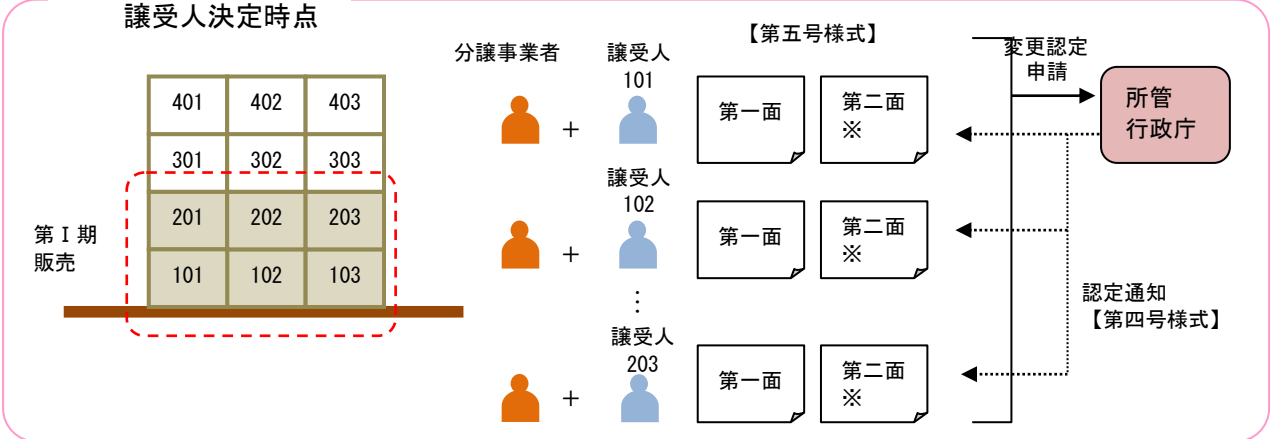
- ・上記の手続きの後、譲受人が取得した住宅を第三者に譲渡する場合、譲渡を受けた者が所管行政庁の承認を受けることにより、その地位を承継することができる。

※分譲事業者が、譲受人を決定した後住宅を引き渡して、当該住宅に関する建築及び維持保全の権原を失った場合は、当該分譲事業者は認定計画実施者とみなされず、それ以降の手続きにおいて、共同で申請等を行う必要はない。

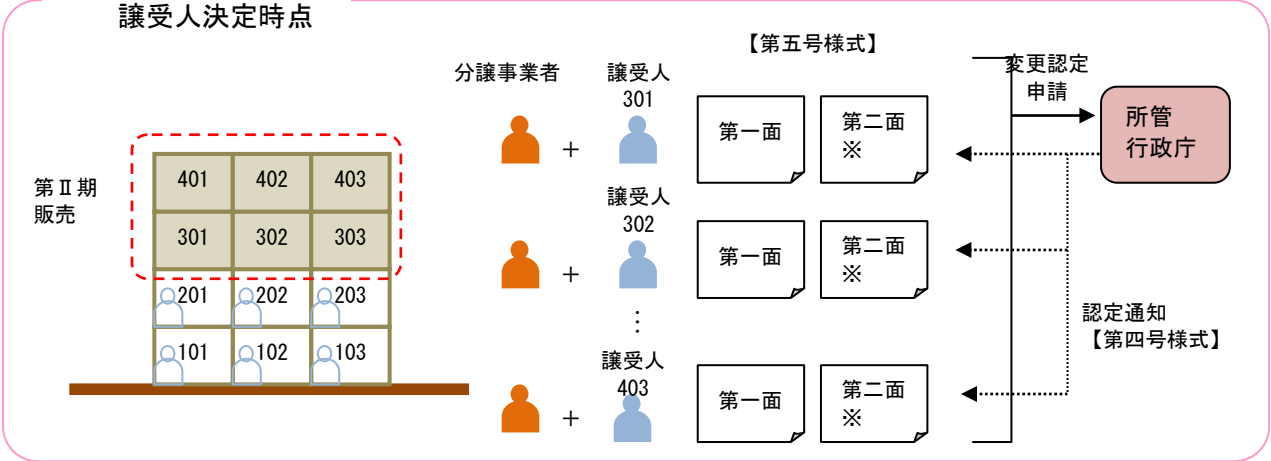
a. 着工前申請時点



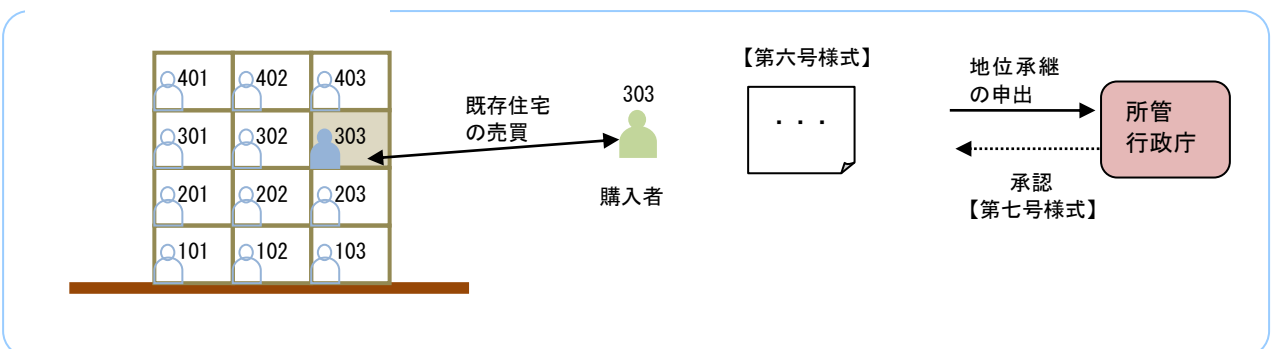
b. 第一期分販売後譲受人決定時点



c. 第二期分販売後譲受人決定時点



d. 既存住宅の売買時点



2章. 記入例 1 (一戸建ての木造軸組み住宅用)

2章 記入例1（一戸建ての木造軸組み住宅用）

1. 認定申請書（規則第一号様式）

第一号様式（第二条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

認 定 申 請 書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代 表 者 の 氏 名

印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条 第1項
第2項
第3項の規定に基づき、長期優良住宅建築等
計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受 付 欄	認 定 番 号 欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

- この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
- 法第5条第2項の規定に基づく申請にあつては、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
- 申請者（法第5条第2項に基づく申請にあつては、分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 法第5条第1項及び第3項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第一面、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。
- 法第5条第2項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第一面及び第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。

第一号様式（第二条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

認 定 申 請 書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
申請者の氏名又は名称 住宅太郎 印
代表者の氏名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条 第1項
第2項
第3項の規定に基づき、長期優良住宅建築等
計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受 付 欄	認 定 番 号 欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

- この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
- 法第5条第2項の規定に基づく申請にあつては、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
- 申請者（法第5条第2項に基づく申請にあつては、分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 法第5条第1項及び第3項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第一面、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。
- 法第5条第2項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第一面及び第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。

(第二面)

長期優良住宅建築等計画

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m ²
【3. 建築面積】	m ²
【4. 床面積の合計】	m ²
【5. 建て方】 <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】 階 m ² 階 m ² 【共同住宅等の場合：住戸の数】 建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸	
【6. 建築物の高さ等】 【最高の高さ】 【最高の軒の高さ】 【階数】 (地上) 階 (地下) 階	
【7. 構造】	造 一部 造
【8. 長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【9. 確認の特例】 法第6条第2項の規定による申出の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	

(注意)

- 【5. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- 【9. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。
- この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第二面)

長期優良住宅建築等計画

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項
 [建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
【2. 敷地面積】	165.00	m ²	
【3. 建築面積】	70.67	m ²	
【4. 床面積の合計】	122.23	m ²	
【5. 建て方】	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等		
【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】	1階	69.23 m ²	2階 53.00 m ²
【共同住宅等の場合：住戸の数】	建築物全体		戸
	認定申請対象住戸		戸
【6. 建築物の高さ等】			
【最高の高さ】	7.95m		
【最高の軒の高さ】	6.34m		
【階数】	(地上)	2	階 (地下) 階
【7. 構造】	木	造	一部 造
【8. 長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【9. 確認の特例】	法第6条第2項の規定による申出の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		

(注意)

- 【5. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- 【9. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。
- この面は、建築確認等の制度の申請書の写しに必要な事項を補うこと等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第1項又は第2項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法及び期間

--

3. 住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

① 建築に係る資金計画

--

② 維持保全に係る資金計画

--

4. 法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者

① 維持保全を建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条若しくは第65条に規定する団体又は同法第47条第1項に規定する法人が行う場合、当該団体又は法人の名称

--

② 譲受人が建築後の住宅の維持保全を他の者と共同して行う場合、当該他の者の氏名又は名称

--

5. 住宅の建築の実施時期

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕	年	月	日
〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕	年	月	日

(注意)

1. 3①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。
2. 3②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。
3. 共同住宅等に係る申請である場合でも、3①及び②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。
4. この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第1項又は第2項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法及び期間

維持保全の方法：〇〇工務店（●●県〇〇市）による点検・保証システムを実施
【別添の維持保全計画書参照】
維持保全の期間：30年

3. 住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

① 建築に係る資金計画

建築に要する費用 3000万円

② 維持保全に係る資金計画

修繕資金として年間6万円の積立を行う。

4. 法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者

① 維持保全を建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条若しくは第65条に規定する団体又は同法第47条第1項に規定する法人が行う場合、当該団体又は法人の名称

なし

② 譲受人が建築後の住宅の維持保全を他の者と共同して行う場合、当該他の者の氏名又は名称

なし

5. 住宅の建築の実施時期

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

(注意)

- 3①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。
- 3②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。
- 共同住宅等に係る申請である場合でも、3①及び②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。
- この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

2. 設計内容説明書（参考様式1）

一戸建て住宅の木造軸組み住宅用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄		※	設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
1. 構造躯体等の劣化の対策	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1m)	・外壁の構造 (□通気構造等 □その他)	□仕上表 □伏図 □	
			・柱[□製材(樹種) □集成材等(種類)] 小径 (cm) 薬剤処理[□有(方法) □無]		
			・柱以外の軸材[□製材(樹種) □集成材等(種類)] 薬剤処理[□有(方法) □無]		
			・構造用合板等の種類 () 薬剤処理[□有(方法) □無]		
	土台	防腐・防蟻処理	・土台に接する外壁下端の水切り (□有 □無) ・土台の樹種 () ・薬剤処理[□有(方法) □無]	□仕上表 □伏図 □	
	地盤	防蟻措置	・防蟻方法 (□べた基礎等 □土壌処理 □その他) ・土壌処理[□有(方法) □無]	□仕上表 □	
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・浴室 (□浴室ユニット □防水上有効な仕上 □その他の防水措置 □防腐措置) (方法) ・脱衣室 (□防水上有効な仕上 □その他の防水措置 □防腐措置) (方法)	□仕上表 □	
	基礎高さ	基礎高さ	・地盤面から基礎上端又は土台下端までの高さ (mm)	□仕上表 □矩計図 □	
床下防湿・換気措置	防湿方式	・防湿方法[□コンクリート(厚さ mm) □防湿フィルム(厚さ mm)] ・防湿フィルムの場合の材料 ()	□計算書 □仕上表 □基礎伏図 □矩計図		
	換気措置	□基礎部の開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm、幅 mm) □ねこ土台(有効面積 c㎡/m、高さ cm)	□		
小屋裏換気	小屋裏換気	・換気口の位置(給気口: 排気口:) ・換気口の面積の天井面積に対する割合 ()	□仕上表 □立面図 □		
点検空間の確保	床下措置 床下空間 小屋裏措置	・床下空間への措置 点検口 [□有 □無] ・床下有効高さ (mm) ・小屋裏空間への措置 点検口 [□有 □無]	□平面図 □伏図 □		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

(記入例)

建築物の名称	住宅太郎邸新築工事
建築物の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
設計者氏名	長期 優子
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄		※	設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
1. 構造躯体等の劣化の対策	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1m)	・外壁の構造 (<input checked="" type="checkbox"/> 通気構造等 <input type="checkbox"/> その他)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input type="checkbox"/>	
			・柱 [<input checked="" type="checkbox"/> 製材 (樹種 ヒノキ・スギ) <input type="checkbox"/> 集成材等 (種類)] 小径 (12.0 cm) 薬剤処理 [<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input checked="" type="checkbox"/> 無]		
			・柱以外の軸材 [<input checked="" type="checkbox"/> 製材 (樹種 スギ) <input type="checkbox"/> 集成材等 (種類)] 薬剤処理 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 (方法 保存協会認定防腐剤を <input type="checkbox"/> 無) 現場塗布]		
			・構造用合板等の種類 (構造用合板) 薬剤処理 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 (方法 同上) <input type="checkbox"/> 無]		
	土台	防腐・防蟻処理	・土台に接する外壁下端の水切り (<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input type="checkbox"/>	
			・土台の樹種 (ヒノキ) ・薬剤処理 [<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input checked="" type="checkbox"/> 無]		
	地盤	防蟻措置	・防蟻方法 (<input checked="" type="checkbox"/> べた基礎等 <input type="checkbox"/> 土壌処理 <input type="checkbox"/> その他)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
			・土壌処理 [<input type="checkbox"/> 有 (方法) <input checked="" type="checkbox"/> 無]		
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・浴室 (<input checked="" type="checkbox"/> 浴室ユニット <input type="checkbox"/> 防水上有効な仕上 <input type="checkbox"/> その他の防水措置 <input type="checkbox"/> 防腐措置) (方法)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
			・脱衣室 (<input checked="" type="checkbox"/> 防水上有効な仕上 <input type="checkbox"/> その他の防水措置 <input type="checkbox"/> 防腐措置) (方法 壁: ビニルクロス 床: 塩化ビニル製床材)		
基礎高さ	基礎高さ	・地盤面から基礎上端又は土台下端までの高さ (420 mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
床下防湿・換気措置	防湿方式	・防湿方法 [<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート (厚さ 120 mm) <input type="checkbox"/> 防湿フィルム (厚さ mm)]	<input type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図		
		・防湿フィルムの場合の材料 ()			
小屋裏換気	換気措置	<input type="checkbox"/> 基礎部の開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm、幅 mm) <input checked="" type="checkbox"/> ねこ土台 (有効面積 120 c m ² /m、高さ 2 cm)	<input type="checkbox"/>		
		・換気口の位置 (給気口: 軒裏 排気口: 軒裏) ・換気口の面積の天井面積に対する割合 (1階: 1.89/250、2階: 1.37/250)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図		
点検空間の確保	床下空間への措置 床下空間 小屋裏空間への措置	・床下空間への措置 点検口 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無] ・床下空間の有効高さ (330 mm以上) ・小屋裏空間への措置 点検口 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無]	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input type="checkbox"/>		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄 ※			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
2. 耐震性	検証方法	地震力及び風圧力に関する検証	<input type="checkbox"/> 壁量計算（仕様規定） <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> 限界耐力計算 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/>	
	耐力壁	筋かい耐力壁	・種類（ ） 寸法（ ） ・種類（ ） 寸法（ ）	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		木摺耐力壁	・種類（ ） 寸法（ ） ・間隔（ ）		
		面材耐力壁	・種類（ ） ・面材厚さ（ mm） 倍率（ ） ・釘種類（ ） 釘間隔（ ）		
	準耐力壁等	木摺準耐力壁	・種類（ ） 寸法（ ） ・間隔（ ）	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		面材準耐力壁	・種類（ ） ・材厚さ（ mm） ・釘種類（ ） 釘間隔（ ）		
	床組等	火打ち構面	・種類（ ） ・隅長（ ） 取合梁背（ ） ・火打ち構面の位置	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		2階床面	・面材の種類（ ） ・根太間隔（ mm） 工法（ ） ・釘種類（ ） 釘間隔（ mm）		
		3階床面	・面材の種類（ ） ・根太間隔（ mm） 工法（ ） ・釘種類（ ） 釘間隔（ mm）		
		小屋床面	・面材の種類（ ） ・根太間隔（ mm） 工法（ ） ・釘種類（ ） 釘間隔（ mm）		
	屋根面	屋根勾配	・勾配（ ）	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		屋根面	・面材の種類（ ） ・垂木間隔（ mm） 工法（ ） ・釘種類（ ） 釘間隔（ mm）		
	接合部	筋かい端部の接合部	・接合部の仕様 （ ） （ ）	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		柱脚・柱頭の接合部	・柱脚・柱頭の接合部の検証方法 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第1460号（仕様規定） <input type="checkbox"/> N値計算法 <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
横架材接合部		・接合部の仕様 （ ） （ ）			
胴差しと通し柱の接合部		接合部の仕様 （ ） （ ）			
基礎	基礎の形式	<input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/>		
	寸法及び配筋等の検証方法	<input type="checkbox"/> スパン表による （種類： ） <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		

(記入例)

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄 ※			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
2. 耐震性	検証方法	地震力及び風圧力に関する検証	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算 (仕様規定) <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> 限界耐力計算 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/>	
	耐力壁	筋かい耐力壁	・種類 (片方向筋かい) 寸法 (45 x 90mm) ・種類 (たすぎ掛け筋かい) 寸法 (45 x 90mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		木摺耐力壁	・種類 () 寸法 () ・間隔 ()		
		面材耐力壁	・種類 () ・面材厚さ (mm) 倍率 () ・釘種類 () 釘間隔 ()		
	準耐力壁等	木摺準耐力壁	・種類 () 寸法 () ・間隔 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		面材準耐力壁	・種類 (せっこうボード片面) ・材厚さ (15 mm) ・釘種類 (GNF40) 釘間隔 (150mm)		
	床組等	火打ち構面	・種類 (火打ち金物 HB) ・隅長 (700mm) 取合梁背 (150mm以上) ・火打ち構面の位置 (2階床 (下屋含む)、小屋床)	<input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		2階床面	・面材の種類 (構造用合板 厚12mm) ・根太間隔 (303mm) 工法 (半欠き) ・釘種類 (N50) 釘間隔 (150 mm)		
		3階床面	・面材の種類 () ・根太間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)		
		小屋床面	・面材の種類 () ・根太間隔 (mm) 工法 () ・釘種類 () 釘間隔 (mm)		
	屋根面	屋根勾配	・勾配 (4寸)	<input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		屋根面	・面材の種類 (構造用合板 厚9mm) ・垂木間隔 (455mm) 工法 (転ばし) ・釘種類 (N50) 釘間隔 (150以下mm)		
	接合部	筋かい端部の接合部	・接合部の仕様 (筋かいプレート)	<input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 構造計算書	
		柱脚・柱頭の接合部	・柱脚・柱頭の接合部の検証方法 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第1460号 (仕様規定) <input checked="" type="checkbox"/> N値計算法 <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> その他 ()		
横架材接合部		・接合部の仕様 (羽子板ボルト) (短冊金物)			
胴差しと通し柱の接合部		接合部の仕様 (腰掛け蟻+羽子板ボルト)			
基礎	基礎の形式	<input type="checkbox"/> 布基礎 <input checked="" type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/>		
	寸法及び配筋等の検証方法	<input checked="" type="checkbox"/> スパン表による (種類: 日本住宅・木材技術センター (平成23年版)) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> その他 ()			

		アンカーボルト	<ul style="list-style-type: none"> ・品質 () ・埋め込み長さ (mm) ・位置・間隔 () 	<input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/>	
	横架材	寸法及び配置等の検証方法	<input type="checkbox"/> スパン表による (種類:) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/>	
	限界耐力計算の場合	安全限界変形	<input type="checkbox"/> 地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が1/40以下であることを確認 <input type="checkbox"/> 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下であることを確認 <input type="checkbox"/> 特に考慮なし	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	
	免震建築物の場合		<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 <ul style="list-style-type: none"> ・同告示第2の該当する号 <input type="checkbox"/>一号 (四号建築物) <input type="checkbox"/>二号 (建築基準法20条第二号に掲げる建築物) <input type="checkbox"/>三号 (時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) <ul style="list-style-type: none"> ・免震層、免震材料の維持に関する計画 <input type="checkbox"/>免震材料等の維持管理に関する計画 <input type="checkbox"/>敷地の管理に関する計画 	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/>	

(記入例)

	アンカーボルト	<ul style="list-style-type: none"> ・品質 (亜鉛メッキ処理) ・埋め込み長さ (250 mm) ・位置・間隔 (柱芯から150mm、間隔1820mm) 	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/>	
横架材	寸法及び配置等の検証方法	<input checked="" type="checkbox"/> スパン表による (種類: 日本住宅・木材技術センター(平成23年版)) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/>	
限界耐力計算の場合	安全限界変形	<input type="checkbox"/> 地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が1/40以下であることを確認 <input type="checkbox"/> 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下であることを確認 <input type="checkbox"/> 特に考慮なし	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	
免震建築物の場合		<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 <ul style="list-style-type: none"> ・同告示第2の該当する号 <input type="checkbox"/>一号 (四号建築物) <input type="checkbox"/>二号 (建築基準法20条第二号に掲げる建築物) <input type="checkbox"/>三号 (時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) <ul style="list-style-type: none"> ・免震層、免震材料の維持に関する計画 <input type="checkbox"/>免震材料等の維持管理に関する計画 <input type="checkbox"/>敷地の管理に関する計画 	<input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/>	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
3. 可変性			(一戸建て住宅のため該当なし)		
4. 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管 (□無 □有) ・給水管 (□無 □有) ・給湯管 (□無 □有)	□仕上表 □平面図 □矩計図 □	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管 (□無 □有) ・給水管 (□無 □有) ・給湯管 (□無 □有) □条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	□仕上表 □平面図 □	
	専用排水管	排水管の清掃措置	・便所 [□排水ますに隣接 □掃除口(□露出又は開口有)] ・その他の水まわり [□トラップ □掃除口(□露出又は開口有)]	□配置図 □平面図 □	
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	□平滑である(仕様等) □その他()	□仕上げ表 □	
		設置状態	□たわみ抜け等が生じないように設置措置() □その他()		
配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 [(□露出 □開口有 □その他())] ----- ・給水管と設備機器の接合部 [(□露出 □開口有 □その他())] ----- ・給湯管と設備機器の接合部 [(□露出 □開口有 □その他())] ----- ・給水管のバルブ及びヘッダー [(□露出 □開口有 □その他())] ----- ・給湯管のバルブ及びヘッダー [(□露出 □開口有 □その他())]	□平面図 □		
5. 高齢者等配慮対策等級(共用部分)			(一戸建て住宅のため該当なし)		

(記入例)

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
3. 可変性			(一戸建て住宅のため該当なし)		
4. 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給湯管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) 	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給湯管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) <input type="checkbox"/> 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図	
	専用排水管	排水管の清掃措置	<ul style="list-style-type: none"> ・便所 (1階) 2階便所は掃除口を設置 [<input checked="" type="checkbox"/> 排水ますに隣接 <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)] ・その他の水まわり [<input checked="" type="checkbox"/> トラップ <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)] 	<input type="checkbox"/> 配置図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	<input checked="" type="checkbox"/> 平滑である (仕様等 VP管着) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	
		設置状態	<input checked="" type="checkbox"/> たわみ抜け等が生じないように設置措置 (管の中間部、継手廻り等を支持金物にて固定) <input type="checkbox"/> その他 ()		
配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部	[<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ()]	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
		・給水管と設備機器の接合部	[<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ()]		
		・給湯管と設備機器の接合部	[<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ()]		
		・給水管のバルブ及びヘッダー	[<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ()]		
		・給湯管のバルブ及びヘッダー	[<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ()]		
5. 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)			(一戸建て住宅のため該当なし)		

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄 ※		
		項目	設計内容	記載図書
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能等級】	適用する基準	適用する基準	<input type="checkbox"/> 建築主判断基準 <input type="checkbox"/> 設計施工指針（本則） <input type="checkbox"/> 設計施工指針（附則）	
	躯体・開口部の断熱性能等	断熱材の種類と厚さ	屋根（ ） 天井（ ） 壁（ ） 床 外気に接する部分（ ） その他の部分（ ） 土間床等の外周部 外気に接する部分（ ） その他の部分（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
		窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 （ ）（ ）（ ） （ ）（ ）（ ） （ ）（ ）（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>
	建築主等判断基準又は設計施工指針（本則）を適用する場合	外皮平均熱貫流率	<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率U A （ W/m ² K）	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>
		冷房期の平均日射熱取得率	<input type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率η A （ ）	
	設計施工指針（附則）を適用する場合	適用条件	開口部比率（ ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
		躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗の基準に適合	
			開口部の断熱性能等	
	結露防止対策	結露の発生防止対策	<input type="checkbox"/> 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） <input type="checkbox"/> 設置（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ） <input type="checkbox"/> 通気層の設置（断熱構造とする場合） <input type="checkbox"/> 屋根【 <input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ ） <input type="checkbox"/> 外壁【 <input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
7. 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	・住宅の専用面積（ ）m ² 以上 ・40 m ² 以上ある階（ ）階（ ）m ² 以上 うち階段部分の面積（ ）m ²	<input type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>
8. 維持保全の方法			・期間（ ）年以上 <input type="checkbox"/> その他の基準への適合	<input type="checkbox"/> 申請書 <input type="checkbox"/> 維持保全計画書
9. 資金計画			<input type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input type="checkbox"/> 申請書

. (記入例)

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄 ※		
		項目	設計内容	記載図書
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能等級】	適用する基準	適用する基準	<input checked="" type="checkbox"/> 建築主判断基準 <input type="checkbox"/> 設計施工指針（本則） <input type="checkbox"/> 設計施工指針（附則）	
	躯体・開口部の断熱性能等	断熱材の種類と厚さ	屋根（ ） 天井（ 高性能ガラスウール40K、140mm ） 壁（ 住宅用ガラスウール16K、100mm ） 床 外気に接する部分（ 該当なし ） その他の部分（ ポリスチレンフォーム2種、65mm ） 土間床等の外周部 外気に接する部分（ 断熱なし ） その他の部分（ 断熱なし ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
		窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 窓 （ ）（ アルミ、一重窓・複層ガラス(A6) ） 扉(台所) （ ）（ アルミ、框扉・複層ガラス(A6) ） 扉(玄関) （ ）（ アルミ、フラッシュ構造扉 ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 (全方位) （ 0.62 ）（ 設計図書による ） （ ）（ ）（ ） （ ）（ ）（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>
	建築主等判断基準又は設計施工指針（本則）を適用する場合	外皮平均熱貫流率	<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率U A （ 0.65 W/m ² K）	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>
		冷房期の平均日射熱取得率	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率η A （ 2.5 ）	
	設計施工指針（附則）を適用する場合	適用条件	開口部比率（ ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
		躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗の基準に適合	
			開口部の断熱性能等	
	結露防止対策	結露の発生防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） <input type="checkbox"/> 設置（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 通気層の設置（断熱構造とする場合） <input checked="" type="checkbox"/> 屋根【 <input checked="" type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ 設置有 ） <input checked="" type="checkbox"/> 外壁【 <input checked="" type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ 設置有 ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>
7. 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	・住宅の専用面積（ 140 ）㎡以上 ・40㎡以上ある階（ 1 ）階（ 80 ）㎡以上 うち階段部分の面積（ 6 ）㎡	<input type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>
8. 維持保全の方法			・期間（ 30 ）年以上 <input checked="" type="checkbox"/> その他の基準への適合	<input type="checkbox"/> 申請書 <input type="checkbox"/> 維持保全計画書
9. 資金計画			<input checked="" type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input type="checkbox"/> 申請書

3. 変更認定申請書（規則第三号様式）

第三号様式（第八条関係）（日本工業規格A列4番）

変 更 認 定 申 請 書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代 表 者 の 氏 名

印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第8条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 変更の概要

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
2. 申請者（法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
3. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

第三号様式（第八条関係）（日本工業規格A列4番）

変 更 認 定 申 請 書

〇〇県〇〇市長 殿

平成〇〇年〇〇月〇〇日

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
申請者の氏名又は名称 住宅太郎 印
代 表 者 の 氏 名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第8条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
4. 変更の概要
耐力壁の長さの変更

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
2. 申請者（法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
3. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

4. 承認申請書（規則第六号様式）

第六号様式（第十二条関係）（日本工業規格A列4番）

承認申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代表者の氏名

印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定に基づき、認定計画実施者の地位の承継について承認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 申請時における認定計画実施者の氏名
5. 地位の承継が生じた原因

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

第六号様式（第十二条関係）（日本工業規格A列4番）

承認申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
申請者の氏名又は名称 住宅次郎 印
代表者の氏名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定に基づき、認定計画実施者の地位の承継について承認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
4. 申請時における認定計画実施者の氏名
住宅太郎
5. 地位の承継が生じた原因

当該住宅の購入（所有権の移転）

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

5. その他の書類

①計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書（参考様式2）

（建築士による書類を添付する場合）

（日本工業規格A列4番）

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称 印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 認定計画実施者の氏名又は名称
5. 計画に従って住宅の建築工事が行われたことを確認した建築士

（ 級）建築士（ ）登録第 号
住所
氏名 印

（ 級）建築士事務所（ ）知事登録第 号
名称
所在地

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
申請者の氏名又は名称 住宅太郎 印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

- 1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号
- 2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
- 3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
- 4. 認定計画実施者の氏名
住宅太郎
- 5. 計画に従って住宅の建築工事が行われたこと確認した建築士

(〇級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇号
住所 〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇
氏名 〇〇 〇〇 印

(〇級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇号
名称 〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇
所在地 〇〇〇〇〇〇建築設計事務所

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

- 1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(建設工事の受注者による書類を添付する場合)

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称

印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

年 月 日

3. 認定に係る住宅の位置

4. 認定計画実施者の氏名

5. 当該住宅の建築工事の請負契約に基づき住宅の建築工事を実施した施工者

施工者の名称

建設業の許可番号

主任技術者の氏名

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(建設工事の受注者による書類)

(日本工業規格A列4番)

住宅の建築工事を完了した旨の報告書

年 月 日

発注者 殿

施工者の名称

建設業の許可番号

主任技術者の氏名

印

下記の住宅の建築工事の請負契約に基づき住宅の建築工事を完了したので報告します。

1. 住宅の所在地
2. 発注者の氏名
3. 建築工事の完了の日

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。

②計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書（参考様式3）

（日本工業規格A列4番）

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書

年 月 日

所管行政庁 殿

認定計画実施者の住所又は

主たる事務所の所在地

認定計画実施者の氏名又は名称 印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第14条1項2号の規定に基づき、認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめたいので、申し出します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 認定計画実施者の氏名

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。
3. 認定計画実施者の氏名の欄には、建築又は維持保全を行う権原を有さない者は記載する必要はありません。

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

認定計画実施者の住所又は

主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

認定計画実施者の氏名又は名称 住宅太郎 印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第14条1項2号の規定に基づき、認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめたいので、申し出します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 〇〇〇〇 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

3. 認定に係る住宅の位置

〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

4. 認定計画実施者の氏名

住宅太郎

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 認定計画実施者の氏名の欄には、建築又は維持保全を行う権原を有さない者は記載する必要はありません。

3章. 記入例2 (RC造共同住宅等用)

1. 認定申請書（規則第一号様式）

第一号様式（第二条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

認 定 申 請 書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代 表 者 の 氏 名 印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条（第1項、第2項、第3項）の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受 付 欄	認 定 番 号 欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

- この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
- 法第5条第2項の規定に基づく申請にあつては、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
- 申請者（法第5条第2項に基づく申請にあつては、分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 法第5条第1項及び第3項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第一面、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。
- 法第5条第2項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第一面及び第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。

第一号様式（第二条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

認 定 申 請 書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
 主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇9-8-7
 申請者の氏名又は名称 共同住宅株式会社 印
 代表者の氏名 代表取締役共同太郎

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条 第1項
第2項
第3項の規定に基づき、長期優良住宅建築等
 計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受 付 欄	認 定 番 号 欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
2. 法第5条第2項の規定に基づく申請にあつては、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
3. 申請者（法第5条第2項に基づく申請にあつては、分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
4. 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
5. 法第5条第1項及び第3項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第一面、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。
6. 法第5条第2項の規定に基づく共同住宅等に係る申請にあつては、第一面及び第三面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面及び第四面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこれらの面の作成を省略することができます。

(第二面)

長期優良住宅建築等計画

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m ²
【3. 建築面積】	m ²
【4. 床面積の合計】	m ²
【5. 建て方】 <input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】 階 m ² 階 m ² 【共同住宅等の場合：住戸の数】 建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸	
【6. 建築物の高さ等】 【最高の高さ】 【最高の軒の高さ】 【階数】 (地上) 階 (地下) 階	
【7. 構造】	造 一部 造
【8. 長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【9. 確認の特例】 法第6条第2項の規定による申出の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	

(注意)

- 【5. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- 【9. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。
- この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第二面)

長期優良住宅建築等計画

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	00県00市001-2-3	共同ハイツ
【2. 敷地面積】	1092.42	m ²
【3. 建築面積】	406.60	m ²
【4. 床面積の合計】	3508.73	m ²
【5. 建て方】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等
【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】		階 m ² 階 m ²
【共同住宅等の場合：住戸の数】	建築物全体	47 戸
	認定申請対象住戸	9 戸
【6. 建築物の高さ等】		
【最高の高さ】	30.05m	
【最高の軒の高さ】	29.55m	
【階数】	(地上) 10 階 (地下) 1 階	
【7. 構造】	鉄骨鉄筋コンクリート造	一部 鉄筋コンクリート造
【8. 長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】		別添設計内容説明書による
【9. 確認の特例】		
	法第6条第2項の規定による申出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

(注意)

- 【5. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- 【9. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「✓」マークを入れてください。
- この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第三面)

[申請に係る住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m ²
【4. 当該住戸への経路】	
【共用階段】	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
【共用廊下】	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
【エレベーター】	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

(注意)

1. この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。
2. 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
3. 【4. 当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
4. この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第三面)

〔申請に係る住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】	205, 305, 405, 505, 605, 705, 805, 905, 1005
【2. 住戸の存する階】	2～10 階
【3. 専用部分の床面積】	58.12 m ²
【4. 当該住戸への経路】	
【共用階段】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
【共用廊下】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
【エレベーター】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有

(注意)

1. この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。
2. 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
3. 【4. 当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
4. この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第3項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法の概要

--

3. 住宅の建築に係る資金計画

--

4. 住宅の建築の実施時期

[建築に関する工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[建築に関する工事の完了の予定年月日]	年	月	日

5. 譲受人の決定の予定時期 年 月

(注意)

1. 3欄には建築に要する費用の概算額を記載してください。また、共同住宅等に係る申請である場合でも、一棟に係る費用を記載してください。
2. この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面：法第5条第3項の規定に基づく申請の場合)

2. 建築後の住宅の維持保全の方法の概要

販売後のマンション管理管理を予定している〇〇管理会社が管理組合から管理業務を受託する
●計画の期間 60年間、各部位毎の概ねの点検・修繕周期は以下の通り
・基礎、柱、梁、壁等 8年ごとに点検 ・屋根、開口部 8年ごとに点検
・給水及び排水 5年ごとに点検 を予定

3. 住宅の建築に係る資金計画

販売予定価格の合算 (50戸分) 22億5千万円 (戸当たり平均5000万円)

4. 住宅の建築の実施時期

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

5. 譲受人の決定の予定時期 平成〇〇年 〇〇月

(注意)

1. 3欄には建築に要する費用の概算額を記載してください。また、共同住宅等に係る申請である場合でも、一棟に係る費用を記載してください。
2. この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項のすべてが明示された別の書面をもって代えることができます。

2. 設計内容説明書（参考様式1）

R C造共同住宅等用

その1. 住棟審査用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄 ※			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
1. 劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	<input type="checkbox"/> ポルトランドセメント (JIS R 5210) <input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> フライアッシュセメント (JIS R 5213) <input type="checkbox"/> 高炉セメント (JIS R 5211)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内 (mm) 屋外 (mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内 (mm) 屋外 (mm) ・土に接する部分 壁、柱、はり 床、基礎の立ち上がり部分 (mm) ・基礎 (立ち上がり部分を除く) (mm) ・外壁仕上げ[<input type="checkbox"/> タイル貼 <input type="checkbox"/> モルタル塗 <input type="checkbox"/> 外断熱工法 <input type="checkbox"/> その他 ()]	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		水セメント比	・コンクリートの種類 (<input type="checkbox"/> 普通コンクリート <input type="checkbox"/> 軽量コンクリート) ・水セメント比 (%)		
	部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・施工誤差 (mm)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	コンクリートの品質等	スランブ	(cm)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		単位水量	(kg/m ³)		
		空気量	(%)		
施工計画	コンクリートの充填方法等	・打込・締め固め方法 () ・打継ぎ部の処理方法 () ・養生方法 ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>		
2. 耐震性 (耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)等級2とする場合の例)	構造躯体	コンクリート及び配筋	・コンクリートの種類 () ・コンクリートの強度 () ・主筋の種類・径 () ・部材の寸法、種類 ・部材相互の接合方法	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図	
	免震建築物	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 ・同告示第2の該当する号 <input type="checkbox"/> 一号(四号建築物) <input type="checkbox"/> 二号(建築基準法20条第二号に掲げる建築物) <input type="checkbox"/> 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) ・免震層、免震材料の維持に関する計画 <input type="checkbox"/> 免震材料等の維持管理に関する計画 <input type="checkbox"/> 敷地の管理に関する計画	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

その1. 住棟審査用

建築物の名称	共同ハイツ
建築物の所在地	〇〇県〇〇市〇〇 1-2-3
設計者氏名	表示 一郎
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄		※ 記載図書	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
1. 劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	<input checked="" type="checkbox"/> ポルトランドセメント (JIS R 5210) (<input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input checked="" type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> フライアッシュセメント (JIS R 5213) <input type="checkbox"/> 高炉セメント (JIS R 5211)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内 (20 mm) 屋外 (20 mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内 (30 mm) 屋外 (30 mm) ・土に接する部分 壁、柱、はり 床、基礎の立ち上がり部分 (40 mm) ・基礎 (立ち上がり部分を除く) (60 mm) ・外壁仕上げ[<input checked="" type="checkbox"/> タイル貼 <input type="checkbox"/> モルタル塗 <input type="checkbox"/> 外断熱工法 <input type="checkbox"/> その他 ()]	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		水セメント比	・コンクリートの種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 普通コンクリート <input type="checkbox"/> 軽量コンクリート) ・水セメント比 (%)		
	部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・施工誤差 (基礎部分: 30 mm、その他 10 mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	コンクリートの品質等	スランブ	(18 cm)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		単位水量	(185 kg/m ³)		
空気量		(5 %)			
施工計画	コンクリートの充填方法等	・打込・締め固め方法 (棒型振動機を使用し、密実に充填) ・打継ぎ部の処理方法 (①打継ぎ面を鉄筋と垂直にする ②打継ぎ部の処理が円滑に行える形状とする) ・養生方法 (養生方法・期間、温度を指定→詳細は仕様書)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>		
2. 耐震性 (耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)等級2とする場合の例)	構造躯体	コンクリート及び配筋	・コンクリートの種類 (普通コンクリート) ・コンクリートの強度 (21 N/mm²~24 N/mm²) ・主筋の種類・径 (SD295A (D10~16)、SD345 (D19~25)) ・部材の寸法、種類 (構造伏図〇〇ページに記載) ・部材相互の接合方法 (構造伏図〇〇ページに記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		免震建築物	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 ・同告示第2の該当する号 <input type="checkbox"/> 一号 (四号建築物) <input type="checkbox"/> 二号 (建築基準法20条第二号に掲げる建築物) <input type="checkbox"/> 三号 (時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) ・免震層、免震材料の維持に関する計画 <input type="checkbox"/> 免震材料等の維持管理に関する計画 <input type="checkbox"/> 敷地の管理に関する計画	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
4. 維持管理・更新の容易性 ① 維持管理対策等級(共用配管) 等級3とする場合の例)	共用配管	コンクリート内埋込み配管	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] ・給水管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] ・給湯管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] 	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] ・給水管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] ・給湯管[<input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有] <input type="checkbox"/> 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	<ul style="list-style-type: none"> ・共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) ・横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) 	<input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	<input type="checkbox"/> 平滑である(仕様等)) <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		設置状態	<input type="checkbox"/> たわみ抜け等が生じないように設置措置() <input type="checkbox"/> その他()		
	配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	<ul style="list-style-type: none"> ・接合部の位置() 点検措置(<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) 	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
		給水管と専用配管の接合部及びバルブ	<ul style="list-style-type: none"> ・接合部の位置() 点検措置(<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) ・バルブの位置() 点検措置(<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) 		
		給湯管と専用配管の接合部及びバルブ	<ul style="list-style-type: none"> ・接合部の位置() 点検措置(<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) ・バルブの位置() 点検措置(<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) 		
	横主管のビット内等の措置	排水管	<input type="checkbox"/> 建物直下になし <input type="checkbox"/> ビット内又は床下設置(<input type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
		給水管	<input type="checkbox"/> 建物直下になし <input type="checkbox"/> ビット内又は床下設置(<input type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他)		
給湯管		<input type="checkbox"/> 建物直下になし <input type="checkbox"/> ビット内又は床下設置(<input type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他)			
配管補修の措置	排水管	<input type="checkbox"/> 露出(<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input type="checkbox"/> P S内(<input type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>		
	給水管	<input type="checkbox"/> 露出(<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input type="checkbox"/> P S内(<input type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)			
	給湯管	<input type="checkbox"/> 露出(<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input type="checkbox"/> P S内(<input type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)			

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
4. 維持管理・更新の容易性 ① 維持管理対策等級(共用配管) 等級3とする場合の例)	共用配管	コンクリート内埋込み配管	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 ・給水管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 ・給湯管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 ・給水管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 ・給湯管 <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有 □ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
	共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	<ul style="list-style-type: none"> ・共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 (<i>1F、5F、最上階</i>) (<input checked="" type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) (<i>その他</i>) (<i>1F、5F、最上階</i>) (<input type="checkbox"/>露出 <input checked="" type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) ・横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 (<i>15m以内毎に設置</i>) (<input checked="" type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) (<i>その他</i>) (<i>15m以内毎に設置</i>) (<input checked="" type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) () () (<input type="checkbox"/>露出 <input type="checkbox"/>開口) 	<input type="checkbox"/> 配置図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	<input checked="" type="checkbox"/> 平滑である(仕様等)) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		設置状態	<input checked="" type="checkbox"/> たわみ抜け等が生じないように設置措置 () <input type="checkbox"/> その他 ()		
	配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 (<i>各階、各住戸、共用PS内</i>)) 点検措置 (<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口)	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
		給水管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置 (<i>各階、各住戸、MB内</i>)) 点検措置 (<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口) ・バルブの位置 (<i>各階、各住戸、MB内、ピット内</i>)) 点検措置 (<input checked="" type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口)		
		給湯管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置 ()) 点検措置 (<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口) ・バルブの位置 ()) 点検措置 (<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口)		
	横主管のピット内等の措置	排水管	<input type="checkbox"/> 建物直下になし <input checked="" type="checkbox"/> ピット内又は床下設置 (<input checked="" type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>	
		給水管	<input type="checkbox"/> 建物直下になし <input checked="" type="checkbox"/> ピット内又は床下設置 (<input checked="" type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他)		
給湯管		<input checked="" type="checkbox"/> 建物直下になし <input type="checkbox"/> ピット内又は床下設置 (<input type="checkbox"/> 人通孔設置 <input type="checkbox"/> その他)			
配管補修の措置	排水管	<input type="checkbox"/> 露出 (<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input checked="" type="checkbox"/> PS内 (<input checked="" type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>		
	給水管	<input type="checkbox"/> 露出 (<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input checked="" type="checkbox"/> PS内 (<input checked="" type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)			
	給湯管	<input type="checkbox"/> 露出 (<input type="checkbox"/> 共用部 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー) <input type="checkbox"/> PS内 (<input type="checkbox"/> 共用部に面して補修用開口有)			

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
4. 維持管理・更新の 容易性 ②更新対策(共用排水 管) 等級3と する場合 の例) □該当な し	共用排水 管	コンクリート 内の埋め込み 配管	・共用排水管[<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有]	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		地中埋設管上 のコンクリート 打設	・共用排水管[<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有] □条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定めら れている地域	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
		パイプスペース 及びピット 等	・横主管の設置位置 □ピット □1階床下空間 □ピロティ □その他の共用部分 ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	・配管に人が到達できる経路 □人通孔 □その他 ()
			・共用排水管の位置 □共用部分 □住棟外周部 □バルコニー □維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じら れている □その他 ()		
		コンクリート 床等の貫通部	・共用排水管のコンクリート床等の貫通部 [<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無] □共用排水管の切断工事を軽減する措置かつ、共用排水 管がコンクリートの床等を貫通する部分に共用排水 管の撤去の際のはつり工事を軽減する措置 □排水管の接続替えを容易に行うための措置 □共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間 を確保	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	
新たな共用排 水管の設置余 地	□共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース・スリーブ等 □排水管の接続替えを容易に行うための措置 □共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間 を確保 ・専用排水管・横主管の接続替えができる空間、スリーブ [<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有] □その他の措置 ()	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>			

(記入例)

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄	
		項目	設計内容	※ 記載図書		
4. 維持管理・更新の容易性 ② 更新対策(共用排水管) 等級3とする場合の例) □ 該当なし	共用排水管	コンクリート内の埋め込み配管	・共用排水管 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有]	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>		
		地中埋設管上のコンクリート打設	・共用排水管 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有] □ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>		
		パイプスペース及びピット等	・横主管の設置位置 <input checked="" type="checkbox"/> ピット <input type="checkbox"/> 1階床下空間 <input type="checkbox"/> ピロティ □ その他の共用部分 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	・配管に人が到達できる経路 <input checked="" type="checkbox"/> 人通孔 <input type="checkbox"/> その他 ()	
			・共用排水管の位置 <input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 <input type="checkbox"/> 住棟外周部 <input type="checkbox"/> バルコニー □ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている □ その他 ()			
		コンクリート床等の貫通部	・共用排水管のコンクリート床等の貫通部 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無] <input checked="" type="checkbox"/> 共用排水管の切断工事を軽減する措置かつ、共用排水管がコンクリートの床等を貫通する部分に共用排水管の撤去の際のはつり工事を軽減する措置 □ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 □ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>		
新たな共用排水管の設置余地	<input checked="" type="checkbox"/> 共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース・スリーブ等 □ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 □ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保 ・専用排水管・横主管の接続替えができる空間、スリーブ [<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有] □ その他の措置 ()	<input type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 設備図 <input type="checkbox"/>				

その2. 住戸審査用

住戸番号	
建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄 ※			設計内容確認欄	
		項目	設計内容	記載図書		
3. 可変性	躯体天井高さ	躯体天井高さ	・ 躯体天井高 (mm以上)	<input type="checkbox"/> 矩形図 <input type="checkbox"/>		
4. 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	・ 排水管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・ 給水管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・ 給湯管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・ 排水管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・ 給水管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・ 給湯管 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) <input type="checkbox"/> 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>		
	専用排水管	排水管の清掃措置	・ 便所 [<input type="checkbox"/> 共用縦管に隣接 <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)] ・ その他の水まわり [<input type="checkbox"/> トラップ <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)]	<input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>		
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	<input type="checkbox"/> 平滑である (仕様等) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> たわみ抜け等が生じないように設置措置 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 仕上げ表 <input type="checkbox"/>	
		設置状態				
	配管点検口	主要接合部等の点検措置	・ 排水管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>		
・ 給水管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]						
・ 給湯管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]						
・ 給水管のバルブ及びヘッダー [(<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]						
・ 給湯管のバルブ及びヘッダー [(<input type="checkbox"/> 露出 <input type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]						

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

その2. 住戸審査用

住戸番号	205、305、405、505、605、705、805、905、1005
建築物の名称	共同ハイツ
建築物の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
設計者氏名	表示 一郎
審査員氏名	

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄 ※			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
3. 可変性	躯体天井高さ	躯体天井高さ	・躯体天井高 (2650 mm以上)	<input checked="" type="checkbox"/> 矩形図 <input type="checkbox"/>	
4. 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給湯管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給水管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・給湯管 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) <input type="checkbox"/> 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
	専用排水管	排水管の清掃措置	・便所 [<input checked="" type="checkbox"/> 共用縦管に隣接 <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)] ・その他の水まわり [<input checked="" type="checkbox"/> トラップ <input type="checkbox"/> 掃除口 (<input type="checkbox"/> 露出又は開口有)]	<input type="checkbox"/> 配置図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面 設置状態	<input checked="" type="checkbox"/> 平滑である (仕様等) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> たわみ抜け等が生じないように設置措置 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上げ表 <input type="checkbox"/>	
	配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())] ----- ・給水管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())] ----- ・給湯管と設備機器の接合部 [(<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())] ----- ・給水管のバルブ及びヘッダー [(<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())] ----- ・給湯管のバルブ及びヘッダー [(<input type="checkbox"/> 露出 <input checked="" type="checkbox"/> 開口有 <input type="checkbox"/> その他 ())]	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	※ 記載図書	
5. 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (mm)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図	
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・転落防止措置の床からの高さ (mm) <input type="checkbox"/> 手すり壁 <input type="checkbox"/> さく <input type="checkbox"/> 金網		
	共用階段	勾配等	・けあげ (mm) ・踏面 (mm) ・勾配 (/)	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
		蹴込み	・蹴込み寸法 (mm) ・蹴込み板 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)		
		形式等	・階段の形式 (<input type="checkbox"/> 踊り場付き折れ階段 <input type="checkbox"/> 直階段 <input type="checkbox"/> その他) ・最上段の通路等への食い込み (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・最下段の通路等への突出 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)		
		滑り防止	・滑り止め (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有、踏面と同一面)		
		段鼻	・段鼻の出 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)		
		転落防止用手すり(外部開放階段)	・転落防止措置の床からの高さ (mm) <input type="checkbox"/> 手すり壁 <input type="checkbox"/> さく <input type="checkbox"/> 金網		
		共用階段の幅員	・有効幅員 (mm)		
		手すり	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	エレベーター	エレベーターの利用	・住戸位置 (<input type="checkbox"/> 建物出入口に存する階 <input type="checkbox"/> 左記以外) ・エレベーター設置 (<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
		エレベーターの仕様	・出入口の有効幅員 (mm)		
		エレベーターホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 (mm × mm)		

(記入例)

認定事項	確認項目※	設計内容説明欄			※	設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書		
5. 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (1230 mm)	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図		
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・転落防止措置の床からの高さ (1200 mm) <input type="checkbox"/> 手すり壁 <input type="checkbox"/> さく <input type="checkbox"/> 金網			
	共用階段	勾配等	・けあげ (187.5 mm) ・踏面 (250 mm) ・勾配 (/)	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 階段詳細図		
		蹴込み	・蹴込み寸法 (0 mm) ・蹴込み板 (<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有)			
		形式等	・階段の形式 (<input type="checkbox"/> 踊り場付き折れ階段 <input type="checkbox"/> 直階段 <input type="checkbox"/> その他) ・最上段の通路等への食い込み (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有) ・最下段の通路等への突出 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)			
		滑り防止	・滑り止め (<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有、踏面と同一面)			
		段鼻	・段鼻の出 (<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有)			
		転落防止用手すり(外部開放階段)	・転落防止措置の床からの高さ (1200 mm) <input type="checkbox"/> 手すり壁 <input checked="" type="checkbox"/> さく <input type="checkbox"/> 金網			
		共用階段の幅員	・有効幅員 (1200 mm)			
	手すり	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	エレベーター	エレベーターの利用	・住戸位置 (<input type="checkbox"/> 建物出入口に存する階 <input checked="" type="checkbox"/> 左記以外) ・エレベーター設置 (<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>		
		エレベーターの仕様	・出入口の有効幅員 (800 mm)			
		エレベーターホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 (1500 mm× 1700 mm)			

「5-1 省エネルギー対策等級」の場合

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄		※ 記載図書	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
6. 省エネルギー対策 【省エネルギー対策等級】	躯体の断熱性能等	断熱構造とする部分と性能	・各部熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ 屋根 () 天井 () 壁 () 床 外気に接する部分 () その他の部分 () 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 () () () () () ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の日射侵入対策	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 () () () () () () () () ()		
	結露防止対策	結露の発生防止対策	<input type="checkbox"/> 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） <input type="checkbox"/> 設置 () <input type="checkbox"/> 省略 () <input type="checkbox"/> 通気層の設置（断熱構造とする場合） <input type="checkbox"/> 屋根【 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 省略 ()】 ・防風層の設置 () <input type="checkbox"/> 外壁【 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 省略 ()】 ・防風層の設置 ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策	・構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ () 補強範囲 (mm)	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
7. 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	・住宅の専用面積 () m ² 以上 ・40 m ² 以上ある階 () 階 () m ² 以上 うち階段部分の面積 () m ²	<input type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>	
8. 維持保全の方法			・期間 () 年以上 <input type="checkbox"/> その他の基準への適合	<input type="checkbox"/> 申請書 <input type="checkbox"/> 維持保全計画書	
9. 資金計画			<input type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input type="checkbox"/> 申請書	

「5-1 省エネルギー対策等級」の場合

(記入例)

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄		※ 記載図書	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
6. 省エネルギー対策 【省エネルギー対策等級】	躯体の断熱性能等	断熱構造とする部分と性能	<ul style="list-style-type: none"> 各部熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ 屋根 (1005室のみ) (A種押出法^ホポリスチレンフォーム保温板2種(7)70) 天井 () 壁 (外壁のみ) (吹付硬質ウレタンフォームA種2(7)40) 床 (205室のみ) 外気に接する部分 (A種押出法^ホポリスチレンフォーム(7)60) その他の部分 (A種押出法^ホポリスチレンフォーム(7)60) 土間床等の外周部 外気に接する部分 (該当なし) その他の部分 (該当なし) 	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 (窓) (アルミサッシ、複層ガラス(A6)) (扉(玄関)) (鋼製、断熱フラッシュ構造扉) () ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の日射侵入対策	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 (西) (0.62) (レースカーテン) (〃) (0.62) (障子) () () ()		
結露防止対策	結露の発生防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> 防湿層の設置 (繊維系断熱材等を使用する場合) <input type="checkbox"/> 設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 省略 (繊維系断熱材を使用していない) <input checked="" type="checkbox"/> 通気層の設置 (断熱構造とする場合) <input checked="" type="checkbox"/> 屋根【口有()】 <input checked="" type="checkbox"/> 省略(鉄筋コンクリート造) ・防風層の設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 外壁【口有()】 <input checked="" type="checkbox"/> 省略(鉄筋コンクリート造) ・防風層の設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 内断熱工法 <input checked="" type="checkbox"/> 断熱材を構造躯体に全面密着等	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
	熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策 ・構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ (吹付硬質ウレタンフォームA種2(7)25) 補強範囲 (別図参照 mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
7. 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の専用面積 (58) m²以上 40 m²以上ある階 () 階 (58) m²以上 うち階段部分の面積 (0) m² 	<input checked="" type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>	
8. 維持保全の方法			<ul style="list-style-type: none"> 期間 (30) 年以上 <input checked="" type="checkbox"/>その他の基準への適合 	<input checked="" type="checkbox"/> 申請書 <input checked="" type="checkbox"/> 維持保全計画書	
9. 資金計画			<input checked="" type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 申請書	

「5-1 断熱等性能等級」の場合

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄		※	設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能等級】	適用する基準	適用する基準	<input type="checkbox"/> 建築主判断基準 <input type="checkbox"/> 設計施工指針（本則） <input type="checkbox"/> 設計施工指針（附則）		
	躯体・開口部の断熱性能等	断熱材の種類と厚さ	屋根（ ） 天井（ ） 壁（ ） 床 外気に接する部分（ ） その他の部分（ ） 土間床等の外周部 外気に接する部分（ ） その他の部分（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 （ ）（ ）（ ） （ ）（ ）（ ） （ ）（ ）（ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
	建築主等判断基準又は設計施工指針（本則）を適用する場合	外皮平均熱貫流率	<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 U_A （ W/m^2K ）	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	
		冷房期の平均日射熱取得率	<input type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率 η_A （ ）		
	設計施工指針（附則）を適用する場合	適用条件	開口部比率（ ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗の基準に適合		
			開口部の断熱性能等		開口部比率の区分 <input type="checkbox"/> 区分（い） <input type="checkbox"/> 区分（ろ） <input type="checkbox"/> 区分（は） <input type="checkbox"/> 緩和措置有り <input type="checkbox"/> 窓の断熱（2%緩和） <input type="checkbox"/> 窓の日射（4%緩和）
	結露防止対策	結露の発生防止対策	<input type="checkbox"/> 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） <input type="checkbox"/> 設置（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ） <input type="checkbox"/> 通気層の設置（断熱構造とする場合） <input type="checkbox"/> 屋根【 <input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ ） <input type="checkbox"/> 外壁【 <input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 省略（ ）】 ・防風層の設置（ ）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
熱橋部対策		・構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ（ ） 補強範囲（ mm）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
7. 住宅の規模	住宅の面積	・住宅の専用面積（ ） m^2 以上 ・40 m^2 以上ある階（ ）階（ ） m^2 以上 うち階段部分の面積（ ） m^2	<input type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>		
8. 維持保全の方法		・期間（ ）年以上 <input type="checkbox"/> その他の基準への適合	<input type="checkbox"/> 申請書 <input type="checkbox"/> 維持保全計画書		
9. 資金計画		<input type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input type="checkbox"/> 申請書		

「5-1 断熱等性能等級」の場合

(記入例)

認定事項	確認項目 ※	設計内容説明欄		※ 記載図書	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能等級】	適用する基準	適用する基準	<input checked="" type="checkbox"/> 建築主判断基準 <input type="checkbox"/> 設計施工指針（本則） <input type="checkbox"/> 設計施工指針（附則）		
	躯体・開口部の断熱性能等	断熱材の種類と厚さ	屋根 (1005 室のみ) (A種押出法 ^ホ ポリスチレンフォーム保温板 2種 (ア) 70) 天井 () 壁 (外壁のみ) (吹付硬質ウレタンフォーム A種 2 (ア) 40) 床 (205 室のみ) 外気に接する部分 (A種押出法 ^ホ ポリスチレンフォーム (ア) 60) その他の部分 (A種押出法 ^ホ ポリスチレンフォーム (ア) 60) 土間床等の外周部 外気に接する部分 (該当なし) その他の部分 (該当なし)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 (窓) (アルミサッシ、複層ガラス (A6)) (扉(玄関)) (鋼製、断熱フラッシュ構造扉)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属部材等 (全方位) (0.62) (設計図書による) () () ()	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/>	
	建築主等判断基準又は設計施工指針（本則）を適用する場合	外皮平均熱貫流率	<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 U A (0.65 W/m ² K)	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	
		冷房期の平均日射熱取得率	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率 η A (2.6)		
	設計施工指針（附則）を適用する場合	適用条件	開口部比率 ()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗の基準に適合		
		開口部の断熱性能等	開口部比率の区分 <input type="checkbox"/> 区分 (い) <input type="checkbox"/> 区分 (ろ) <input type="checkbox"/> 区分 (は) <input type="checkbox"/> 緩和措置有り <input type="checkbox"/> 窓の断熱 (2%緩和) <input type="checkbox"/> 窓の日射 (4%緩和)		
	結露防止対策	結露の発生防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> 防湿層の設置 (繊維系断熱材等を使用する場合) <input type="checkbox"/> 設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 省略 (繊維系断熱材を使用していない) <input checked="" type="checkbox"/> 通気層の設置 (断熱構造とする場合) <input checked="" type="checkbox"/> 屋根【 <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 省略 (鉄筋コンクリート造) ・防風層の設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 外壁【 <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 省略 (鉄筋コンクリート造) ・防風層の設置 () <input checked="" type="checkbox"/> 内断熱工法 <input checked="" type="checkbox"/> 断熱材を構造躯体に全面密着等	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
熱橋部対策		・構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ (吹付硬質ウレタンフォーム A種 2 (ア) 25) 補強範囲 (別図参照 mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>		
7. 住宅の規模	住宅の面積	・住宅の専用面積 (58) m ² 以上 ・40 m ² 以上ある階 () 階 (58) m ² 以上 うち階段部分の面積 (0) m ²	<input checked="" type="checkbox"/> 求積図 <input type="checkbox"/>		
8. 維持保全の方法		・期間 (30) 年以上 <input checked="" type="checkbox"/> その他の基準への適合	<input checked="" type="checkbox"/> 申請書 <input checked="" type="checkbox"/> 維持保全計画書		
9. 資金計画		<input checked="" type="checkbox"/> 建築に要する費用の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 維持保全に要する費用の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 申請書		

3. 変更認定申請書（規則第三号様式）

第三号様式（第八条関係）（日本工業規格A列4番）

変 更 認 定 申 請 書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称 印
代 表 者 の 氏 名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第8条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 変更の概要

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
2. 申請者（法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
3. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

第三号様式（第八条関係）（日本工業規格A列4番）

変 更 認 定 申 請 書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇9-8-7
申請者の氏名又は名称 共同住宅株式会社 印
代 表 者 の 氏 名 代表取締役 共同太郎

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第8条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
4. 変更の概要
共用排水管の位置の変更

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は、分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。
2. 申請者（法第5条第2項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
3. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

4. 変更認定申請書（規則第五号様式）

第五号様式（第十一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

変 更 認 定 申 請 書

年 月 日

所管行政庁 殿

分譲事業者 住所又は
主たる事務所の所在地
氏名又は名称 印
代表者の氏名

譲受人 住所又は
主たる事務所の所在地
氏名又は名称 印
代表者の氏名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第9条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書に記載の事項は、事実に相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日

3. 認定に係る住宅の位置

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 分譲事業者又は譲受人が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 分譲事業者又は譲受人の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 共同住宅等に係る申請にあつては、第一面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこの面の作成を省略することができます。

第五号様式（第十一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

変 更 認 定 申 請 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

分譲事業者 住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇9-8-7
氏名又は名称 共同住宅株式会社
代表者の氏名 代表取締役 共同太郎 印

譲受人 住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
氏名又は名称 住宅太郎 印
代表者の氏名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第9条第1項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 303号室

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 分譲事業者又は譲受人が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 分譲事業者又は譲受人の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 共同住宅等に係る申請にあつては、第一面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこの面の作成を省略することができます。

(第二面)

1. 建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間

--

2. 住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

① 建築に係る資金計画

--

② 維持保全に係る資金計画

--

(注意)

1. ①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。
2. ②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。
3. 共同住宅等に係る申請である場合でも、①、②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。

3. 法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者

- ① 維持保全を建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条若しくは第65条に規定する団体又は同法第47条第1項に規定する法人が行う場合、当該団体又は法人の名称

--

- ② 譲受人が建築後の住宅の維持保全を他の者と共同して行う場合、当該他の者の氏名又は名称

--

4. 住宅の建築の実施時期

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕	年	月	日
〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕	年	月	日

(第二面)

1. 建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間

「共同ハイツ管理組合 長期修繕計画」による。【別添参照】(※資料としては省略)

2. 住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

① 建築に係る資金計画

--

② 維持保全に係る資金計画

303号室 修繕積立金 6,000円/月×12か月=72,000円/年

(注意)

- ①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。
- ②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。
- 共同住宅等に係る申請である場合でも、①、②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。

3. 法第5条第2項の規定による認定を受けようとする住宅の維持保全を行う者

- ① 維持保全を建物の区分所有等に関する法律(昭和37年法律第69号)第3条若しくは第65条に規定する団体又は同法第47条第1項に規定する法人が行う場合、当該団体又は法人の名称

共同ハイツ管理組合

- ② 譲受人が建築後の住宅の維持保全を他の者と共同して行う場合、当該他の者の氏名又は名称

--

4. 住宅の建築の実施時期

〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕 平成〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕 平成〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

5. 承認申請書（規則第六号様式）

第六号様式（第十二条関係）（日本工業規格A列4番）

承認申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称
代表者の氏名

印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定に基づき、認定計画実施者の地位の承継について承認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 申請時における認定計画実施者の氏名
5. 地位の承継が生じた原因

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

第六号様式（第十二条関係）（日本工業規格A列4番）

承認申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
申請者の氏名又は名称 買取一郎 印
代表者の氏名

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第10条の規定に基づき、認定計画実施者の地位の承継について承認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実に相違ありません。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 〇〇〇〇 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

3. 認定に係る住宅の位置
〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

4. 申請時における認定計画実施者の氏名
共同住宅株式会社 代表取締役 共同太郎
住宅太郎

5. 地位の承継が生じた原因
住宅の購入により当該住宅の所有権を得たため

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

6. その他の書類

①計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書（参考様式2）

（建築士による書類を添付する場合）

（日本工業規格A列4番）

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称 印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

年 月 日

3. 認定に係る住宅の位置

4. 認定計画実施者の氏名

5. 計画に従って住宅の建築工事が行われたこと確認した建築士

(級) 建築士 () 登録第 号
住所
氏名 印

(級) 建築士事務所 () 知事登録第 号
名称
所在地

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

申請者の住所又は

主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇9-8-7
共同住宅株式会社 代表取締役 共同太郎 印

申請者の氏名又は名称 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 住宅太郎 印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 〇〇〇〇 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

3. 認定に係る住宅の位置

〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

4. 認定計画実施者の氏名

共同住宅株式会社 代表取締役 共同太郎
住宅太郎

5. 計画に従って住宅の建築工事が行われたこと確認した建築士

(〇級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇号
住所 〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇
氏名 〇〇 〇〇 印

(〇級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇号
名称 〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇
所在地 〇〇〇〇〇〇建築設計事務所

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(建設工事の受注者による書類を添付する場合)

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了した旨の報告書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称

印

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築工事が完了したので報告します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号
第 号
2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日
年 月 日
3. 認定に係る住宅の位置
4. 認定計画実施者の氏名
5. 当該住宅の建築工事の請負契約に基づき住宅の建築工事を実施した施工者

施工者の名称

建設業の許可番号

主任技術者の氏名

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(建設工事の受注者による書類)

(日本工業規格A列4番)

住宅の建築工事を完了した旨の報告書

年 月 日

発注者 殿

施工者の名称

建設業の許可番号

主任技術者の氏名

印

下記の住宅の建築工事の請負契約に基づき住宅の建築工事を完了したので報告します。

1. 住宅の所在地
2. 発注者の氏名
3. 建築工事の完了の日

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。

②計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書（参考様式3）

（日本工業規格A列4番）

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書

年 月 日

所管行政庁 殿

認定計画実施者の住所又は

主たる事務所の所在地

認定計画実施者の氏名又は名称 印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第14条1項2号の規定に基づき、認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめたいので、申し出します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

年 月 日

3. 認定に係る住宅の位置

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

（注意）

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 認定計画実施者の氏名の欄には、建築又は維持保全を行う権原を有さない者は記載する必要はありません。

(日本工業規格A列4番)

認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめる旨の申出書

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

〇〇県〇〇市長 殿

認定計画実施者の住所又は

主たる事務所の所在地

認定計画実施者の氏名又は名称 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 買取一郎 印

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第14条1項2号の規定に基づき、認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築又は維持保全を取りやめたいので、申し出します。

1. 長期優良住宅建築等計画の認定番号

第 〇〇〇〇 号

2. 長期優良住宅建築等計画の認定年月日

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

3. 認定に係る住宅の位置

〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決済欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 認定計画実施者の氏名の欄には、建築又は維持保全を行う権原を有さない者は記載する必要はありません。

<参 考>

長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査依頼書

別記様式1号

年 月 日

(登録住宅性能評価機関 宛)

依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印
代理者の住所又は
主たる事務所の所在地
代理者の氏名又は名称 印

長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査業務規程に基づき、長期優良住宅の普及の促進に関する法律第6条第1項の認定基準のうち、以下に掲げる基準への適合性について技術的審査を依頼します。この依頼書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【技術的審査を依頼する認定基準の区分】

- 法第6条第1項第1号関係（長期使用構造等）
 - 法第2条第4項第1号イ関係（構造の腐食、腐朽及び摩損の防止）
 - 法第2条第4項第1号ロ関係（地震に対する安全性の確保）
（免震建築物又は耐震等級3に係る適合審査を受けようとする場合）
 免震建築物 耐震等級3）
 - 法第2条第4項第2号関係（構造及び設備の変更を容易にするための措置）
 - 法第2条第4項第3号関係（維持保全を容易にするための措置）
 - 法第2条第4項第4号関係（高齢者の利用上の利便性及び安全性）
 - 法第2条第4項第4号関係（エネルギーの使用の効率性）
- 法第6条第1項第2号関係（住宅の規模）
- 法第6条第1項第3号関係（居住環境の維持及び向上への配慮）
- 法第6条第1項第4号イ及びロ又は同項第5号イ関係（建築後の住宅の維持保全）
- 法第6条第1項第4号ハ又は同項第5号ロ関係（資金計画）

【設計住宅性能評価申請の有無】 有（ 同一の機関 他機関） 無

【認定申請先の所管行政庁名】

【認定申請予定日】

【住宅の位置】

【住宅又は建築物の名称】

【住宅の建て方】

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
依頼受理者印	

○登録住宅性能評価機関が交付する「長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査適合証」の様式

別記様式 2 号

長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査

適合証

依頼者の氏名又は名称 殿

[
 登録住宅性能評価機関
 印
]

長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査業務規程に基づき、長期優良住宅の普及の促進に関する法律第 6 条第 1 項の認定基準のうち、以下に掲げる基準に適合していることを証します。

記

1. 住宅の位置
2. 住宅又は建築物の名称
3. 住宅の建て方
4. 認定申請先の所管行政庁名
5. 適合することを確認した認定基準の区分
 - 法第 6 条第 1 項第 1 号関係（長期使用構造等）
 - 法第 2 条第 4 項第 1 号イ関係（構造の腐食、腐朽及び摩損の防止）
 - 法第 2 条第 4 項第 1 号ロ関係（地震に対する安全性の確保）
 - （免震建築物又は耐震等級 3 に適合する場合 免震建築物 耐震等級 3）
 - 法第 2 条第 4 項第 2 号関係（構造及び設備の変更を容易にするための措置）
 - 法第 2 条第 4 項第 3 号関係（維持保全を容易にするための措置）
 - 法第 2 条第 4 項第 4 号関係（高齢者の利用上の利便性及び安全性）
 - 法第 2 条第 4 項第 4 号関係（エネルギーの使用の効率性）
 - 法第 6 条第 1 項第 2 号関係（住宅の規模）
 - 法第 6 条第 1 項第 3 号関係（居住環境の維持及び向上への配慮）
 - 法第 6 条第 1 項第 4 号イ及びロ又は同項第 5 号イ関係（建築後の住宅の維持保全）
 - 法第 6 条第 1 項第 4 号ハ又は同項第 5 号ロ関係（資金計画）

技術的審査依頼年月日	年 月 日
認定申請予定日	年 月 日
適合証交付年月日	年 月 日
適合証交付番号	〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇-〇-〇-〇〇〇〇〇
審査員氏名	

< Q & A >

■ Q & A

A. 法律編

	質問	回答
1	認定の申請はいつまで可能か。	認定を申請できるのは「建築しようとする者」であることから、建築工事に着手する前に申請する必要がある。
2	認定が下りないと着工できないのか。	着工前に申請した計画については、着工した住宅であっても認定を受けることができる。また、申請時期については着工する前に行う必要がある。なお、着工後に申請を取り下げて再度申請することはできないので注意が必要である。
3	建築確認を認定申請前に得ておくことは可能か。また、法第6条第2項以外の場合において、申請前に建築確認を得ておく必要があるか。	建築確認を認定申請前に得ておくことは可能である。また、確認済証の有無によらず認定の申請は可能である。
4	長期優良住宅建築等計画は、住宅の用に供する部分に限られているが、複数の用途で併用している場合などでは、法第6条第2項の申し出はできるのか。	建築確認としては、建築物全体(1棟)の審査をし、確認済証を交付することになる。(建築確認本来の取扱いによる) 従って、複合用途の建築物や、共同住宅のうち、一部だけの申請であっても、法第6条第2項の申し出をすることは可能。
5	複数住戸のあるマンションの場合は、まとめて申請書を作成してよいのか。まとめて申請した場合、認定書の発行単位はどうなるのか。	必要に応じて、まとめて申請することができる。(申請の手引き p7参照) 認定書の発行単位は住戸単位になる。
6	併用住宅は、施行規則第4条各号のどちらに該当するのか。	住宅の用途以外の用途に供する部分を有するものであるため、施行規則第4条第2号の「共同住宅等」に該当する。
7	長期優良住宅建築等計画に含まれる計画の範囲は何か。	申請書、添付図書及びその他の提出図書の内容のすべてが計画に含まれる。また、法第6条第2項の規定により、確認の申請書を提出した場合には、当該確認の申請書の内容も計画に含まれる。
8	法第6条第2項に基づく申し出をした場合に提出する建築基準法第6条第1項に規定する確認の申請書の宛先及び申請書に記載されている申請書の内容はどうなるのか。	建築基準法第6条第1項の規定による確認の申請書の様式をそのまま用いる。(宛先は建築主事のみとなる)
9	法第6条第5項により、長期優良住宅建築等計画は、確認済証の交付があったものとみなされるが、当該建築物の住宅以外の部分についても、確認済証の交付があったものとみなしてよいのか。	建築基準法第6条第1項に規定する建築基準関係規定への適合性審査にあつては、住宅以外の部分も含めた建築物の計画が審査の対象となっているため、当該建築物の計画について確認済証の交付があったものとみなされる。
10	法第6条第2項に基づく申し出を受けた場合に着工した住宅の中間検査、完了検査では、認定基準に係る部分の検査もするのか。	建築基準関係規定に係る部分のみでよい。
11	建築主と管理者が同一の賃貸住宅の場合、各住戸ごとに申請書の各面が必要になるのか。	第1号様式の第3面を住戸ごとに作成すれば、その他の面は同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書については作成を省略することができる。(申請の手引き p7参照) ただし、申請は賃貸の場合であっても住戸単位になる。
12	法第9条の譲受人の決定したときとはどの時点か。	契約締結又は引き渡しをもって譲受人の決定としてよい。
13	住宅を含む棟で住宅以外の用途部分(機械室、複合用途建築物など)に変更が生じた場合は変更認定対象となるのか。	長期優良住宅建築等計画に含まれている内容であつて、軽微な変更該当しない場合は変更扱いとなる。

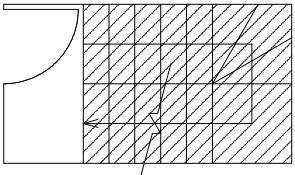
	質問	回答
14	1の敷地に複数の建築物がある場合、申請・審査はどのようにまとめられるか。	申請・審査は、住戸単位を原則としつつ、住棟(建築物)単位で審査することが必要な項目は住棟(建築物)単位で行われることから、敷地に存する当該建築物以外の建築物がある場合においては、同一敷地であっても審査の対象にならない。
15	法第5条第2項の規定に基づく申請をし、譲受人が決定した場合、分譲事業者は認定計画実施者に含まれるのか。	原則、含まれる。ただし、譲受人に当該住宅が引き渡され、分譲事業者に所有権がなくなるなど、分譲事業者に建築及び維持保全に必要な権原がなくなった場合においては、譲受人は、分譲事業者と共同で申請をする必要はない。
16	別棟で台所がない住宅を建築する場合、認定を受けることができるのか。	認定を受ける条件として、原則「居室、台所、便所、風呂」の全てを備えていることが必要となる。ただし、認めるべき特別な理由がある場合は理由書を提出した上で、個別確認となる。
17	法第5条第2項に基づく申請において、認定申請時に譲受人が決まっている場合、法第5条第1項に基づく申請でも良いと思われるが、必ず法第5条第2項に基づく申請でなければいけない場合というのはあるのか。	維持保全を行う者が建築主以外である場合は法第5条第2項に基づく申請となります。
18	認定申請を連名で行うことは可能か。	可能である。連名で申請する場合、第一面の申請者記載欄に記入し、書ききれない場合は別紙に記載がある旨表記して別紙に記入するなどすることとなる。また、別紙に記載する場合についても第一面の記載事項を記載することになる。(住所、氏名、押印)
19	法第5条第3項(分譲事業者)申請で認定通知を受けた後、その住宅を別の分譲事業者に転売する場合は、法第10条地位の承継の手続きをするのか。その後、住宅の購入者が決定した場合は法第9条の変更申請を行うことになるのか。	その通りである。
20	建築確認申請を同時に行う場合、設計図書など提出書類を兼ねることは出来るのか。	認定申請に必要な図書と建築確認の申請書は、兼ねることはできない。それぞれ必要である。
21	維持保全計画の変更についても所管行政庁に届けるのか。	変更認定の申請書の提出先は所管行政庁となる。
22	建売などで当初、事業主が申請し、認定を受け、譲受人が後から決まった場合、「変更申請」することになるが、最初に申請した事業主と譲受人(居住者等)との共同名義で変更申請することか。	その通りである。
23	法第5条第1項に基づく申請において、「地位の承継」はどういう場合にできるのか。	認定計画実施者から地位の継承をする一般承継人、認定長期優良住宅の所有権その他当該認定長期優良住宅の建築及び維持保全に必要な権原を取得した者が所管行政庁の承認を受けることができる。
24	認定申請の際に30年の維持保全計画を作成した場合で、30年経過したのち、変更申請を行わなかった場合は認定長期優良住宅となくなるのか。	その通りである。
25	記録の保存については「紙」でもいいのか。	その通りである。
26	法第12条で報告の徴収規定がありますが、報告はすべての認定住宅に求められるのか。それとも、所管行政庁が必要と判断した場合のみ求められるのか。	所管行政庁は、認定計画実施者に対し認定長期優良住宅の建築及び維持保全の状況について報告を求めることができることされており、必要に応じて実施することになる。

	質問	回答
27	維持管理段階の所管行政庁の検査はどのように行われるのか。	所管行政庁の検査の実施はない。所管行政庁が報告を求めたときに、認定計画実施者は維持保全の状況について報告することとなる。
28	維持管理を行う者に対する資格や技能は求められるのか。	必要な維持管理を行うことができる者であれば、特に資格などは求められていない。
29	所管行政庁は適切に施工されたことを確認するのか。	所管行政庁は必要に応じて認定長期優良住宅の建築の状況について報告を求めることができるが、本法に基づく所管行政庁による中間・完了検査はない。
30	定期点検において補修が必要と判断されたにもかかわらず、認定計画実施者が補修等の対策をしない場合、認定取り消しなどに該当するのか。	所管行政庁は、計画に従って維持保全を行っていないと認めるときは、当該認定計画実施者に対し、改善命令をすることができ、その命令に違反したときは認定を取り消すことができることとされている。
31	資金計画が計画通りに実施されているかのチェックはあるのか。また、計画通りに実施されなかった場合、罰則はあるのか。	所管行政庁から報告の徴収を求められた場合、認定計画実施者は報告が必要となる。また、認定長期優良住宅建築等計画に従って認定長期優良住宅の建築及び維持保全を行っていないと認めるときは、改善命令を受けることがある。
32	参考様式である建築工事が完了した旨の報告書の「計画に従って住宅の建築工事が行われたことを確認した建築士」とは、建築士であればだれでもよいのか。また、建築士でなければいけないのか。	建築士における報告においては、建築士法令等に従って工事を確認した建築士になる。建築士によらない場合、登録住宅性能評価機関や建設業者が確認することも想定される。
33	参考様式である建築工事が完了した旨の報告書には提出年月日の記載欄があるが、工事が完了した日の記載は不要ということによいか。	報告書に添付する工事監理報告書等に記載することになる。
34	資金計画が著しく不適切な場合、どのような是正措置がとられるのか。	申請者が修正しない場合は、認定されないことになる。
35	既存住宅でも、長期優良住宅建築等計画の認定申請は可能か。	現時点では、新築住宅のみが対象である。
36	基礎まで出来ている段階で、申請することは可能か。	長期優良住宅建築等計画の認定申請は、着工前に行うこととなる。したがって、着工を行った後では認定申請することはできない。なお、着工の考え方については建築基準法の取り扱いに準じる。
37	認定申請は着工の何日前までなどの規定はあるのか。	特になし。
38	住宅履歴情報についてどのようなものを保存する必要があるのか。	国土交通省のホームページ(http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000006.html)に掲載された「認定長期優良住宅における記録の作成と保存について」を参照。
39	点検の時期が10年を超えないとする基準日が建築の完了とありますが、引渡し日や建築基準法の検査済証の交付日を起算日として考えてもよいか。	引渡し日ではなく、建築工事の完了した日が起算日となる。
40	施行規則第2条に図書の種類と明示すべき事項が定められているが、認定対象住戸に適用されない性能項目の審査にのみ必要とされることが明らかな事項については添付図書に明示しないでもよいか。	その通りである。

	質問	回答
41	施行規則 11 条第 2 項に譲受人を決定した場合の変更申請は譲受人を決定した日から 3 月以内に行うことが定められているが、停止条件付の契約の場合は停止条件が成就した時から 3 月以内に行えばよいか。	その通りである。

B. 認定基準編

	質問	回答
1	【劣化・外壁】 外壁の軸組等を通気構造等とした場合で軸組等の樹種を耐久性区分D1以外とし、かつ、防腐・防蟻に有効な薬剤処理をしている場合は、小径の指定はないと解してよろしいか。	評価方法基準 3-1(3)イ①a(i)(イ)を参照してください。なお、外壁の軸組み等には耐力面材等も対象になるので注意が必要である。
2	【劣化】 補強コンクリートブロック造の認定基準が定められていないが、当該構造の場合は同等性の証明が必要になるということでしょうか。	その通りである。
3	【劣化・床下】 木造や鉄骨造の住宅において、1階の床がフリーフロアとなっている場合でも床下空間 330 mm 以上の確保が必要となるのか。	必要となる。ただし、床の全てが取り外しが可能で全てが点検できれば 330 mm 以上の確保の必要はない。
4	【劣化・床下】 「床下空間の有効高さを 330 mm 以上とすること」とあるが、断熱材が施工されている場合は、断熱材を除いた部分の有効高さを 330 mm 以上とすればよいのか。	原則として、断熱材が施工された状態での床下空間の有効高さを 330 mm 以上にする必要がある。ただし、取り外しが可能な断熱材等の非構造部材を施工する場合などで、点検を行う際に当該非構造部材を取り除くことにより移動ができるなど、当該非構造部材が占有していた空間を点検のために有効な空間として活用できる場合は、当該非構造部材を取り除いたものとして算定することが可能とされている。取り除くことができる場合とは、当該取り除いた非構造部材を再利用できる状況を指す。
5	【劣化・床下】 木造在来工法において、局所的に有効高さが確保できない大引等で囲まれた部分がある場合は、当該部分の床面に点検口が必要か。	大引きの直下等の局所的に部材が突出している部分で、有効高さを 330 mm 未満とすることがやむを得ないと認められる部分については、当該部分又はその他の床下空間の点検に支障をきたさない場合は、当該突出した部材を除いて有効高さを算定することができる。ただし、当該突出部分において人通孔等とみなすことができる程度の空間を確保できない場合は、空間として連続した床下空間であっても、当該突出部分により仕切られた 2 つの空間の間を移動することができないものとみなすため、2 つの空間のそれぞれの床に点検口が必要になる。
6	【劣化・床下】 人通孔があり、床下全てがつながっていても、布基礎の区画それぞれの床面に点検口が必要か。	床下空間に対する点検口の設置については、区分された床下空間ごとに点検口を設置し、床下全域にわたって点検することが可能であることを求めているが、床下空間が基礎などで区分されている場合であっても、人通孔等によって接続され、一方の床下空間から他方の床下空間へ到達可能な場合にあっては、接続されている複数の床下空間を 1 の部分として点検口を設置することが可能とされている。

	質問	回答
7	<p>【構造】 設計内容説明書に各階の安全限界変形の高さに対する割合は必ず記載する必要があるのか。</p>	<p>認定マニュアルに記載されている参考様式の設計内容説明書では「特に考慮なし」と記載されているが、この様式は参考とすべき一例を示したもののなので、必要に応じて適宜内容を記載することになる。 構造計算を限界耐力計算により行った場合には必要になるが、それ以外の場合は記載する必要はない。</p>
8	<p>【構造・木造】 2階建て以下の木造住宅の耐震性の基準で梁せり等について許容応力度計算書は必要か。</p>	<p>原則、許容応力度計算等が必要となる。</p>
9	<p>【構造】 時刻歴応答解析により検証する場合は、建築基準法の大臣認定書にて基準の①と同等性が確認できればよいのか。</p>	<p>原則、同等性確認の証明書などで同等性を証明することが必要になる。ただし、品確法の特別評価方法認定や建築基準法の大臣認定書で同等性が証明できる場合はこの限りではない。 例えば、①イとの同等性を証明する際には、時刻歴応答解析により構造計算し、その際極めて稀に発生する地震動によって求められる層間変形角が1/100以下であることを確認することなどが考えられる。</p>
10	<p>【可変性】 2階建ての場合、1階と2階の両方が2,650mm以上ないといけないのか。</p>	<p>その通りである。</p>
11	<p>【維持管理・更新】 床での区画を行わない堅穴区画に配置しなければ、維持管理・更新の容易性が適合できないのか。</p>	<p>専用部分に立ち入らないで補修等が行える開口がある場合は不要である。</p>
12	<p>【維持管理・更新】 維持管理・更新の容易性の基準のただし書き規定が適用できる条件で技術解説に記載されている管理規約は、2世帯住宅や賃貸アパート等についても必要となるのか。</p>	<p>住宅所有者が単独である場合、管理規約は不要となる。</p>
13	<p>【規模】 建築基準法の確認申請上、開放条件を満足できず、床面積に算入しているバルコニーの部分であっても、規模の基準の面積には算入しないと考えてよいか。</p>	<p>その通りである。</p>
14	<p>【規模】 車庫付住宅、店舗付住宅等の住宅において、車庫部分、店舗部分は規模の基準の面積に算入しないと考えてよいか。</p>	<p>原則、算入できない。</p>
15	<p>【規模】 床面積に出窓の部分を算入してもよいか。</p>	<p>建築基準法上床面積に算入される場合は、算入できる。</p>
16	<p>【規模】 下記のような階段の場合、斜線の部分を階段の部分と考えるとよいか。</p> 	<p>その通りである。 上下階への移動空間が階段部分の面積となる。</p>

	質問	回答
17	【規模】 階段部分の面積を除く一の階の床面積が40㎡以上明らかにある場合でも、床面積から階段部分を除いた面積を算出する必要があるのか。	階段を除いた床面積が明らかに40㎡以上ある場合については、特に必要としない。
18	【規模】 階段の上部（2階建てであれば2階部分）に物入れ等がある場合、床面積に算入することは可能か。	物入れの床の高さが2階床レベル程度であれば、床面積に算入することができる。
19	【維持保全】 維持保全計画において杭の点検はどのようにすればよいのか。	一般的に点検のための開口等を設置しない部分であって、被覆等をされていて目視による点検を実施する際に破壊を伴う必要がある部分については、点検の時期について本基準を適用せず、当該被覆等をされている部分の周辺部分の点検の結果を踏まえ、必要に応じて、点検、調査、修繕又は改良を行うことを定めることができるとされている。
20	【維持保全】 維持保全計画の様式には決まったものがあるのか。また、住宅履歴情報の様式は決まったものがあるのか。	いずれも特に定めはないので、技術解説に掲載している例を参考にして、個別仕様にあわせて、基準に記載された事項を適宜作成することになる。
21	【維持保全】 維持保全の方法はどのような書式で提出すればよいか。	申請書第四面に記載することになる。また、必要に応じて別紙での対応が可能である。
22	【資金計画】 資金計画の修繕積立金について「額が著しく不適切」ではない具体的な額を教えてください。	建築される住宅の計画によって異なる。一般的な金額が記載されている場合であれば特に問題ない。
23	【その他】 長期優良住宅の認定を受けるには、認定基準にすべて適合しなければ認定されないのか。	その通りである。

C. その他

	質問	回答
1	「設計内容説明書」の様式は認定マニュアル等に掲載されているものが様式となるのか。	認定マニュアル等に掲載している設計内容説明書は参考様式なので必要な範囲内で、個別の住宅の計画に応じて、詳細に設定することになる。
2	認定マニュアルに掲載されているチェックシートは任意様式と考えてよろしいか。	その通りである。なお、チェックシートは審査を行う者が活用するもので、申請に必要な図書ではない。
3	長期優良住宅の設計をするためには品確法の評価員の資格が必要か。	特に必要としていない。
4	長期優良住宅を建築することにより、建築主にはどのようなメリットがあるのか。	国土交通省 HP にてご確認ください。 (http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000006.html)
5	「住宅型式性能認定書」と「住宅型式性能確認書」はどのような区別になるのか。	「住宅型式性能認定書」は型式が評価方法基準に規定された一定の性能を有することを認定するものであり、「住宅型式性能確認書」は評価方法基準に定められた基準以外のものを含む長期優良住宅の認定基準について、当該型式が当該認定基準に適合することを確認するものとされている。
6	認定申請した場合、認定が通知される期間は何日程度か。	申請先の所管行政庁にご確認ください。

	質問	回答
7	「設計内容説明書」において、設計者の氏名欄がありますが、建築士・建築士事務所等資格関係の記載は不要か。	不要である。
8	申請書類等をダウンロードできる場所はあるか。	各所管行政庁もしくは登録住宅性能評価機関にお問い合わせください。
9	設計住宅性能評価と同時に技術的審査を行う際に、各設計内容説明書において重複する記載についての省略が可能か。	住宅性能評価の設計内容説明書に記載されている部分については、長期優良住宅の設計内容説明書で省略することが考えられる。ただし、省略した際にはその旨がわかるようになっている必要がある。

長期優良住宅 認定申請書作成の手引き

平成 21 年 5 月 18 日	第 1 版発行
平成 21 年 7 月 29 日	第 2 版発行
平成 22 年 8 月 25 日	第 3 版発行
平成 23 年 11 月 1 日	第 4 版発行
平成 27 年 4 月 1 日	第 5 版発行

監修 国土交通省住宅局住宅生産課
発行 一般社団法人 住宅性能評価・表示協会

本書の作成にあたっては、
「住宅性能表示制度 評価申請書作成の手引き（発行サンパートナーズ（株））」
より引用・転載しております。